松山市文化財調査報告書第107集

宮前川流域の遺跡Ⅱ

南江戸桑田
大峰ヶ台6次・8次
北斎院

－分析・写真図版編－

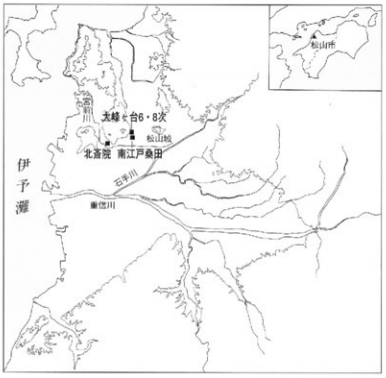
2005

松山市教育委員会
財団法人 松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター

宮前川流域の遺跡Ⅱ

南江戸桑田
大峰ヶ台6次・8次
北斎院

―分析・写真図版編―



2005

松山市教育委員会
財団法人 松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター

巻頭図版1　北斎院遺跡出土の赤色塗彩土器

1.7号墓遺物出土状況

2.8号墓遺物出土状況

3.11号墓遺物出土状況

巻頭図版2　南江戸桑田遺跡(1)

1.12号墓遺物出土状況

2.12号墓遺物出土状況

3.14号墓遺物出土状況

巻頭図版3　南江戸桑田遺跡(2)

例　言

1．本書は、松山市教育委員会・松山市埋蔵文化財センターおよび財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センターが、昭和50年・昭和63年・平成7年に松山市北斎院町・南江戸5丁目・朝日ヶ丘1丁目で実施した埋蔵文化財調査の報告書である。

　報告は本文編と分析・写真図版編とに二分冊し、本文編は松山市文化財調査報告書第102集に収録され、本書は分析・写真図版編の二分冊目となる。

2．遺構の呼称は記号化してあり、掘立柱建物址：掘立、井戸：ＳＥ、性格不明遺構：ＳＸである。

3．野外調査の写真撮影は調査担当者が行い、遺物撮影と図版作成は担当者と協議のうえ大西朋子が行った。

4．本書にかかわる資料は、松山市埋蔵文化財センターで収納・保管している。

5．南江戸桑田遺跡の人骨の鑑定と修復は、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムに委託した。鑑定の結果は、松下孝幸先生に考察を加えて執筆を賜った。

6．刊行組織（平成17年3月31日現在）

松山市教育委員会	教育長	土居	貴美
事務局	局長	久保	浩三
	企画官	石丸	修
	企画官	丹生谷博一	
	企画官	仙波	和典
文化財課	課長	篠原	忠人
(財)松山市生涯学習振興財団	理事長	中村	時広
	事務局長	三宅	泰生
	事務局次長	石丸	允良
	事務局次長	池田	政勝
埋蔵文化財センター	所長	杉田	久憲
	専門監兼学芸係長	早瀬	忠幸
	次長兼調査係長	西尾	幸則
	管理係長	岸本	照修
	調査員	栗田	茂敏
	調査員	梅木	謙一
	調査員	宮内	慎一
	調査員	大西	朋子（写真担当）

7．編集は、梅木謙一が担当し、水口あをいが補助した。

8．報告書作成データーは下記である。

　印刷：オフセット印刷－175線、用紙：本文マットカラー110kg、製本：アジロ綴じ

分　析　編

松山市南江戸桑田遺跡出土の近世人骨 ……〔松下孝幸〕…… 1

挿図目次

図１　遺跡の位置（縮尺1／25,000） …… 2
図２－１　２号人骨（女性・壮年）・３号人骨（女性・壮年） …… 5
図２－２　６号人骨（女性）・７号人骨（女性） …… 9
図２－３　８号人骨（男性）・９号人骨（男性） …… 11
図２－４　11号人骨（男性） …… 15

表目次

表１　資料数 …… 3
表２　出土人骨一覧
表３　年齢区分
表４　脳頭蓋計測値（女性、㎜） …… 22
表５　上腕骨計測値（男性、右、㎜）
表６　上腕骨計測値（女性、右、㎜）
表７　大腿骨計測値（男性、右、㎜） …… 23
表８　大腿骨計測値（女性、右、㎜）
表９　脛骨（男性、右、㎜） …… 24
表10　脛骨（女性、右、㎜）
表11　推定身長値（男性、㎝） …… 25
表12　推定身長値（女性、㎝）
表13　脳頭蓋（女性、㎜） …… 26
表14　顔面頭蓋（女性、㎜、度）
表15　下顎骨（㎜、度） …… 27
表16　肩甲骨（㎜）
表17　鎖骨（㎜） …… 28
表18　上腕骨（㎜）
表19　橈骨（㎜） …… 29
表20　尺骨（㎜）
表21　大腿骨（㎜） …… 30
表22　脛骨（㎜） …… 31
表23　腓骨（㎜） …… 32
表24　膝蓋骨（㎜）
表25　推定身長値（㎝） …… 33

表26　中央周の比 …… 33
表27　形態小変異 …… 34
表28　橈骨（㎜）…… 35
表29　尺骨（㎜）
表30　大腿骨（㎜）
表31　脛骨（㎜）

写真目次

写真1　5号人骨（幼児）…… 36
写真2　1号人骨（小児）
写真3　3号人骨（女性・壮年）…… 37
写真4　2号人骨（女性・壮年）
写真5　10号人骨（女性・壮年）…… 38
写真6　2号人骨（女性・壮年）
写真7　3号人骨（女性・壮年）…… 39
写真8　6号人骨（女性）…… 40
写真9　7号人骨（女性）…… 41
写真10　8号人骨（男性）…… 42
写真11　9号人骨（男性）…… 43
写真12　11号人骨（男性）…… 44

写 真 図 版 編

巻頭図版１　北斎院遺跡出土の赤色塗彩土器

巻頭図版２　南江戸桑田遺跡（１）

１．７号墓遺物出土状況

２．８号墓遺物出土状況

３．11号墓遺物出土状況

巻頭図版３　南江戸桑田遺跡（２）

１．12号墓遺物出土状況

２．12号墓遺物出土状況

３．14号墓遺物出土状況

南江戸桑田遺跡

図版１　１．１区の調査（南西より）

２．北半部の遺構（北より）

３．１号墓検出状況（１）（西より）

図版２　１．１号墓検出状況（２）（南より）

２．２・５号墓検出状況（東より）

３．２号墓検出状況（東より）

図版３　１．３号墓検出状況（１）（東より）

２．３号墓検出状況（２）（西より）

３．３号墓検出状況（３）（西より）

図版４　１．３号墓検出状況（４）（西より）

２．３号墓桶棺除去後（東より）

３．５号墓検出状況（１）（南より）

図版５　１．５号墓検出状況（２）（東より）

２．５号墓検出状況（３）（東より）

３．５号墓検出状況（４）（北東より）

図版６　１．５号墓桶棺除去後（北東より）

２．６号墓検出状況（１）（北より）

３．６号墓検出状況（２）（西より）

図版７　１．６号墓検出状況（３）（西より）

２．６号墓検出状況（４）（東より）

３．７号墓検出状況（１）（南より）

図版８　１．７号墓検出状況（２）（東より）

２．７号墓検出状況（３）（西より）

３．７号墓検出状況（４）（東より）

図版９　１．８号墓検出状況（１）（南より）
２．８号墓検出状況（２）（東より）
３．８号墓検出状況（３）（南より）
図版10　１．８号墓桶棺除去後（北東より）
２．９～15号墓全景（北より）
３．９号墓検出状況（１）（東より）
図版11　１．９号墓検出状況（２）（東より）
２．９号墓検出状況（３）（東より）
３．10号墓検出状況（１）（東より）
図版12　１．10号墓検出状況（２）（東より）
２．10号墓検出状況（３）（東より）
３．10号墓検出状況（４）（東より）
図版13　１．11号墓検出状況（１）（北東より）
２．11号墓検出状況（２）（東より）
３．11号墓検出状況（３）（南より）
図版14　１．11号墓検出状況（４）（東より）
２．12号墓検出状況（１）（東より）
３．12号墓検出状況（２）（東より）
図版15　１．12号墓検出状況（３）（東より）
２．12号墓検出状況（４）（東より）
３．12号墓検出状況（５）（西より）
図版16　１．12号墓桶棺除去後（西より）
２．13号墓検出状況（１）（南より）
３．13号墓検出状況（２）（東より）
図版17　１．13号墓棺外出土遺物（西より）
２．14号墓検出状況（１）（北より）
３．14号墓検出状況（２）（南より）
図版18　１．14号墓検出状況（３）（北より）
２．14・15号墓検出状況（南より）
３．15号墓検出状況（南より）
図版19　１．１～８号墓桶棺除去後（北より）
２．９～15号墓桶棺除去後（北より）
３．ＳＥ０１検出状況（南より）
図版20　１．ＳＸ１検出状況（南より）
２．２区の調査（南西より）
３．ＳＥ０２検出状況（東より）
図版21　１．出土遺物（１）
図版22　１．出土遺物（２）

大峰ヶ台遺跡６次調査地

図版23　１．Ｂ１区調査前全景（１）（南より）
２．Ｂ１区調査前全景（２）（北より）
３．Ｂ１区谷状地形の検出（１）（西より）
図版24　１．Ｂ１区谷状地形の検出（２）（北西より）
２．Ｂ１区掘削状況（１）（南より）
３．Ｂ１区掘削状況（２）（南西より）
図版25　１．Ｂ１区第７層遺物出土状況（１）（東より）
２．Ｂ１区第７層遺物出土状況（２）（北より）
３．Ｂ１区第７層遺物出土状況（３）（北より）
図版26　１．Ｂ１区第７層遺物出土状況（４）（北西より）
２．Ｂ１区第７層遺物出土状況（５）（西より）
３．Ｂ１区第７層遺物出土状況（６）（南より）
図版27　１．Ｂ１区第７層遺物出土状況（７）
２．Ｂ１区第７層遺物出土状況（８）（北東より）
３．Ｂ１区第７層遺物出土状況（９）（北西より）
図版28　１．Ｂ１区第７層遺物出土状況（10）（北より）
２．Ｂ１区Ａ～Ａ′土層断面（北西より）
３．Ｂ１区Ｂ～Ｂ′土層断面（南より）
図版29　１．Ｂ１区谷状地形完掘状況（南西より）
２．Ｂ１区Ｄ～Ｄ′土層断面（１）（西より）
３．Ｂ１区Ｄ～Ｄ′土層断面（２）（北西より）
図版30　１．Ｂ２区調査前全景（１）（北西より）
２．Ｂ２区調査前全景（２）（南より）
３．Ｂ２区掘削状況（南西より）
図版31　１．Ｂ２区遺物出土状況（１）（南西より）
２．Ｂ２区遺物出土状況（２）
３．Ｂ２区遺物出土状況（３）
図版32　１．Ｂ２区Ｅ～Ｅ′土層断面（北西より）
２．Ｂ２区Ｇ～Ｇ′土層断面（東より）
３．Ｂ２区Ｆ～Ｆ′土層断面（北東より）
図版33　１．Ｂ１区第７層出土遺物（１）
図版34　１．Ｂ１区第７層出土遺物（２）
図版35　１．Ｂ１区第７層出土遺物（３）
図版36　１．Ｂ１区第７層出土遺物（４）
図版37　１．Ｂ１区第７層出土遺物（５）
図版38　１．Ｂ１区第７層出土遺物（６）
図版39　１．Ｂ１区第９層出土遺物

図版40　1．B1区第11層出土遺物
図版41　1．B2区第9層出土遺物（1）
図版42　1．B2区第9層出土遺物（2）
図版43　1．B2区第9層出土遺物（3）
図版44　1．B2区第9層出土遺物（4）
図版45　1．C調査区出土遺物・試掘調査出土遺物

大峰ヶ台遺跡8次調査地
図版46　1．調査前の状況（西より）
　　2．A区遺構検出状況（東より）
　　3．掘立1・2完掘状況（1）（南西より）
図版47　1．掘立1・2完掘状況（2）（東より）
　　2．1号・2号墓検出状況（西より）
　　3．1号墓遺物出土状況（東より）
図版48　1．B区の調査（南東より）
　　2．A区・B区完掘状況（東より）
　　3．1号墓出土遺物

北斎院遺跡
図版49　1．調査地全景（西より）
　　2．調査風景（東より）
　　3．調査地土層
図版50　1．出土遺物（1）
図版51　1．出土遺物（2）

松山市南江戸桑田遺跡出土の近世人骨

松下孝幸*

【キーワード】：愛媛県、近世人骨、桶棺墓、短頭型、長頭型、骨折

はじめに

愛媛県松山市南江戸５丁目に所在する南江戸桑田遺跡は宅地開発に伴って発掘調査がおこなわれた遺跡である。1988年(昭和63年)におこなわれた発掘調査で15基の近世墓が検出され、15体の人骨が出土した。

愛媛県から出土した人骨のうち筆者が調査や研究にかかわったものは、古墳時代人骨が、今治市桂の谷古墳群(1995b)、今治市二の谷２号墳(2000a)、松山市宮前川北斎院遺跡(1998g)で、弥生時代から古墳時代にかけての人骨としては伊予市の原池遺跡石棺出土の熟年の女性骨があり(1998f)、中世人骨としては、松山市の古照遺跡(松下、1998h)と七反地遺跡(松下、2000b)および八幡浜市のウラショウジ遺跡(松下、1999d)の例があるが、近世人骨については本例が今治市矢田平山近世墓(松下、2000c)に続いて２例目である。

愛媛県周辺での近世人骨については、山口県では山口市の西小路遺跡(松下、1983a)、豊北町大河浜遺跡(松下・他、1994)、下松市梅の木原遺跡(松下・他、1986)、柳井市の鳥越遺跡(松下、1997b)、豊北町の堤迫・道祖ノ本遺跡(松下・他、1998b)、阿知須町の神正遺跡(松下、1998c)、美東町の長登銅山跡(松下、1998e)ぐらいしかなく、しかもいづれも少数例ばかりであるし、梅の木原遺跡の場合は火葬骨であった。北九州市では近世墓地の調査が積極的におこなわれており、貴重な資料が多くなってきた。上清水遺跡(松下・他、1992)、宗玄寺跡(松下、1995a)、普済院跡(松下、1996a)、京町遺跡(松下、1993、2002)や福岡市の天福寺(中橋、1987)などは九州の近世人骨の貴重な例として活用されている。また、広島県の例としては、広島市石佛遺跡(松下・他、1990)、東広島市の古市遺跡(松下・他、1992)、庄原市の一の谷第７号古墓(松下、1998a)などがあるが、いずれも少数例である。

南江戸桑田遺跡から出土した近世人骨は発掘時から時間が経ちすぎていたために、頭蓋の所在がわからないものもあり、また保存状態も必ずしも良好なものではなかったが、なかには計測ができるものもあった。出土人骨の人類学的観察と計測を行ない、周辺地域の資料と比較検討したので、その結果を報告しておきたい。

資　料

本遺跡から出土した近世人骨は合計15体で、表１に示すとおり、この15体のうち成人骨は11体で、残りの４体は幼小児骨である。成人骨のうち、男性骨は６体、女性骨は５体である。なお、各人骨の性別・年令は表２のとおりである。また、主な人骨の残存部分は図２に示した。

* Takayuki　MATSUSHITA

The Doigahama Site Anthropological Museum〔土井ケ浜遺跡・人類学ミュ-ジアム〕

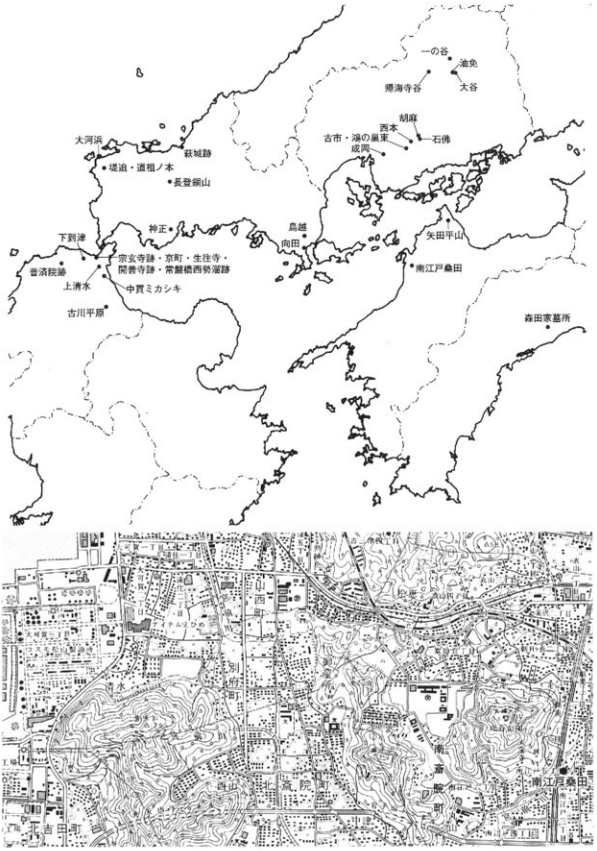


図1　遺跡の位置（1/25000）（Fig.1 Location of the Minamiedo-kuwata site, Matsuyama City, Ehime Prefecture）

この15体の人骨は、考古学的所見より、近世に属する人骨群である。

計測方法は、Martin-Saller(1957)によった。また、脛骨の横径はオリビエの方法で計測し、鼻根部については鈴木(1963)と松下ら(1983)の方法で計測した。

なお、性判別については所見の項でそれぞれの個体ごとにその推定根拠を挙げた。年齢区分に関しては表3の基準のとおりである。

人骨の整理・復元・計測値の計算、写真の焼き付けなどは、磯部美枝子、松下玲子、中野江里子が担当した。

表1　資料数（Table 1. Number of materials）

成人			幼小児	合計
男性	女性	不明		
6	5	0	4	15

表2　出土人骨一覧（Table 2. List of skeletons）

人骨番号	性別	年齢	備考
1号	−	小児	7～8歳
2号	女性	壮年	
3号	女性	壮年	
4号	−	小児	7歳
5号	−	幼児	5歳
6号	女性	不明	143.92cm（脛骨・左）
7号	女性	不明	
8号	男性	不明	骨折
9号	男性	不明	
10号	女性	壮年	
11号	男性	不明	159.20cm（橈骨・左）
12号	男性	不明	
13号	男性	壮年	
14号	−	幼児	1歳前後
15号	男性	熟年	

表3　年齢区分（Table 3. Division of age）

	年齢区分	年　　齢
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳（第一大臼歯萌出直前まで）
	小児	6歳～15歳（第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで）
	成年	16歳～20歳（蝶後頭軟骨結合癒合まで）
成人	壮年	21歳～39歳（40歳未満）
	熟年	40歳～59歳（60歳未満）
	老年	60歳以上

注）成年という用語については上井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（1996）を参照されたい。

所　見

各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

1号墓人骨（小児）

発掘調査時の写真には頭蓋が写っているが、頭蓋も歯も現存していない。四肢骨が残存していた。大腿骨の大きさなどから、年齢を7～8歳頃と推定した。

2号墓人骨（女性・壮年）

出土状況の写真から、埋葬姿勢は仰臥屈葬のようであるが、本例も棺槨を倒して埋置している可能性が強いので、本来は坐位なのかもしれない。

1．頭蓋

脳頭蓋を復元することができた。頭蓋壁は薄い。前頭部は膨隆しており、外後頭隆起は発達していない。三主縫合はまだ内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が176mm、頭蓋最大幅は143mmで、頭蓋長幅示数は81.25となり、頭型は短頭型(brachykran)である。その他は計測できない。また、顔面頭蓋は残存していない。下顎骨は左半分が残っていた。径は小さい。

2．歯

下顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／7 6 5 4 3 2／	①② 3 4 5 6 7／
／7 6 5 4 3 2／	①② 3 4 5 6 7／

〔●：歯槽閉鎖　○：歯槽開存　／：不明　▽：先天性欠損、普芽は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕以下同じ

咬耗度はBrocaの1度(咬耗がエナメル質のみ)である。

3．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していたが、保存状態はよくない。

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。骨体はかなり細い。三角筋粗面の発達もよくない。

計測値は、中央最大径が16mm(右)、17mm(左)、中央最小径は12mm(右)、13mm(左)で、骨体断面示数は75.00(右)、76.47(左)となり、骨体の扁平性は弱い。骨体最小周は48mm(左)、中央周は47mm(右)、49mm(左)で、骨体は著しく細い。

②橈骨・尺骨

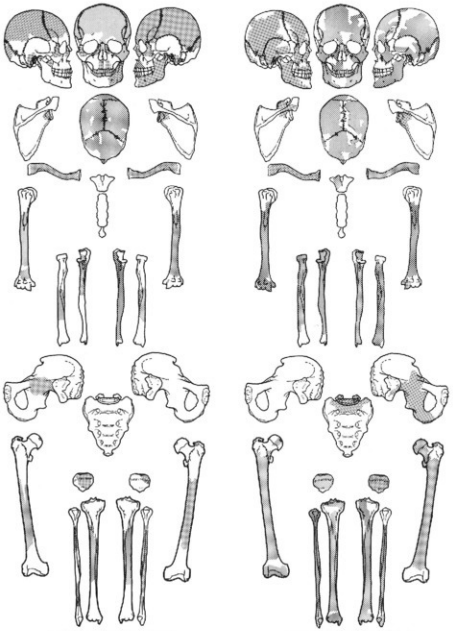
橈骨も尺骨も両側の骨体が残っていたが、径はかなり小さいものである。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨および膝蓋骨が残存していたが、保存状態は悪い。

①大腿骨

左右の骨体が残っていた。径は細く、粗線の発達も著しく悪い。



2号人骨（女性・壮年）　　3号人骨（女性・壮年）

図２－１　人骨の残存部（アミかけ部分）
(Fig.2-1. Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

計測値は、骨体中央矢状径が21mm(右)、20mm(左)、横径は22mm(右)、22mm(左)で、骨体中央断面示数は95.45(右)、90.91(左)となり、粗線はほとんど発達していない。骨体中央周は68mm(右)、67mm(左)で、骨体はきわめて細い。

②腓骨

両側とも骨体中央部が残存していた。骨体は細い。前縁は鈍縁である。

計測値は、中央最大径が22mm(右)、22mm(左)、中央横径は18mm(右)、18mm(左)で、中央断面示数は81.82(右)、81.82(左)となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は63mm(右)、65mm(左)、最小周は62mm(左)で、骨体は細い。

4．性別・年令

性別は、前頭部が膨隆しており、四肢骨が著しく小さいことから、女性と推定した。年齢は三主縫合がいずれも内外両板とも開離していることから壮年と思われる。

3号墓人骨（女性・壮年）

写真からの出土状況は右側を下にした側臥屈葬であるが、埋葬施設は桶棺(早桶)を倒して埋置しているので、本来は坐位(坐葬)である。ほぼ全身骨が残存していた。

1．頭蓋

脳頭蓋を復元することができた。眉間はやや隆起しており、外後頭隆起部は後方へふくらんでいる。頭蓋冠は薄く、三主縫合は、内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が192mm、頭蓋最大幅は135mmで、頭蓋長幅示数は70.31となり、頭型は長頭型(dolichokran)に属している。その他の計測はできない。

顔面骨の一部が残っていた。顔の幅径は広く、上顔高は低そうである。下顎骨も残存していた。高径は低い。下顎枝角は大きく、下顎枝は後方へ倒れている。

2．歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／7 6 5 4 3 2 1	／2 3 4 5 6 7／
／／6 5 4 ／ 2 ／	／／3 4 5 6 7▽

咬耗度はBrocaの1～2度である。

3．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細く、三角筋粗面の発達も悪い。

計測値は、中央最大径が18mm(右)、19mm(左)、中央最小径は14mm(右)、13mm(左)で、骨体断面示数は77.78(右)、68.42(左)となり、左側骨体は扁平である。骨体最小周は52mm(右)、50mm(左)、中央周は54mm(右)、53mm(左)で、骨体は細い。

②橈骨・尺骨

橈骨も尺骨も両側の骨体が残っていた。骨間縁の発達は良好であるが、骨体は細い。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨および膝蓋骨が残存していた。

①寛骨

左側の坐骨が残っていた。耳状面前溝は認められないが、大坐骨切痕の角度は大きい。

②大腿骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細いが、粗線はよく発達している。計測値は、骨体中央矢状径が22mm(右)、23mm(左)、横径は23mm(右)、26mm(左)で、骨体中央断面示数は95.65(右)、88.46(左)となり、粗線は発達しているが、骨体両側面の後方への発達は悪い。骨体中央周は71mm(右)、77mm(左)で、骨体は細い。また、上骨体断面示数は77.78(右)、75.00(左)となり、骨体上部は扁平である。

③腓骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細く、前縁はS字状のカーブを描いており、ヒラメ筋線はよく発達している。骨体の断面形は両側ともヘリチカのW型を呈している。

計測値は、中央最大径が24mm(右)、25mm(左)、中央横径は18mm(右)、16mm(左)で、中央断面示数は75.00(右)、64.00(左)となり、左側骨体は扁平である。骨体周は64mm(右)、67mm(左)、最小周は60mm(右)、61mm(左)で、骨体は細い。

4．性別・年令

性別は、大坐骨切痕の角度は大きく、眉上弓の隆起が弱いことから、女性と推定した。年齢は三主縫合がいずれも内外両板とも開離していることから壮年と思われる。

4号墓人骨（小児）

残存量はきわめて少なく、頭蓋と四肢骨の一部にすぎない。頭蓋は潰れており、復元できない。永久歯の歯根形成状態から年齢を7歳と推定した。

5号墓人骨（幼児）

頭蓋と四肢骨が残存しており、残存量は4号人骨よりは多い。永久歯の歯根形成状態や四肢骨の大きさから年齢を5歳と推定した。

6号墓人骨（女性・年齢不明）

埋葬遺構は桶棺で、やはり桶棺を倒している。埋葬姿勢は側臥屈葬であるが、本来は坐葬である。

1．頭蓋

残存量は少ないが、残っていたのは上顎骨の一部と下顎骨のみである。出土時の写真では脳頭蓋も残っているが、現存しない。下顎骨の高径は低い。

2．歯

残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／	7	／	5	4	／	2	1	1	2	3	4	5	6	7	／
▽	7	6	5	4	／	／	／	1	／	3	4	5	6	7	▽

咬耗度はBrocaの1～2度である。

3．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

①上腕骨

両側とも残存していたが、左側はほぼ完全である。三角筋粗面の発達は比較的良好である。計測値は、最大長が265mm(左)、骨体最小周は53mm(右)、56mm(左)、中央周は57mm(右)、60mm(左)で、長厚示数は21.13(左)である。また、中央最大径は20mm(右)、21mm(左)、中央最小径は14mm(右)、15mm(左)で、骨体断面示数は70.00(右)、71.43(左)となり、骨体は扁平である。

②橈骨・尺骨

橈骨も尺骨も両側とも残っていた。骨体は細いが、骨間縁の発達は良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨および膝蓋骨が残存していた。

①寛骨

両側とも恥骨を欠損している。大坐骨切痕の角度は大きいが、耳状面前溝は浅い。

②大腿骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細く、粗線の発達もよくない。計測値は、骨体中央矢状径が23mm(右)、22mm(左)、横径は24mm(右)、25mm(左)で、骨体中央断面示数は95.83(右)、88.00(左)となり、粗線と骨体両側面の後方への発達は悪い。骨体中央周は73mm(右)、74mm(左)で、骨体は細い。また、上骨体断面示数は74.07(右)となり、骨体上部は扁平である。

③脛骨

両側とも残存していた。長さは長いものではなく、骨体は細く、ヒラメ筋線の発達も悪い。骨体の断面形は両側ともヘリチカのV型を呈している。計測値は、脛骨最大長が300mm(左)、骨体周は66mm(右)、65mm(左)、最小周は63mm(右)、64mm(左)で、骨体は細く、長厚示数は21.77(左)である。中央最大径は23mm(右)、21mm(左)、中央横径は19mm(右)、18mm(左)で、中央断面示数は82.61(右)、85.71(左)となり、骨体にはまったく扁平性は認められない。

4．推定身長値

左側の上腕骨最大長から、Pearsonおよび藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ144.46cm(Pearson、左)、144.73cm(藤井、左)となり、低身長である。また、左側の脛骨全長および脛骨最大長から、Pearsonおよび藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ143.92cm(Pearson、左)、143.95cm(藤井、左)となり、やはり低身長である。

5．性別・年令

性別は、大坐骨切痕の角度が大きく、四肢骨の径が小さいことから、女性と推定した。年令は不明である。

7号墓人骨（女性・年齢不明）

埋葬遺構は桶棺で、やはり桶棺を倒している。人骨の量が少なく、埋葬姿勢は不明である。

1．頭蓋

両側の上顎骨と右側の頬骨が残存していただけである。

2．歯

遊離歯が残っていた。残存歯は次のとおりである。

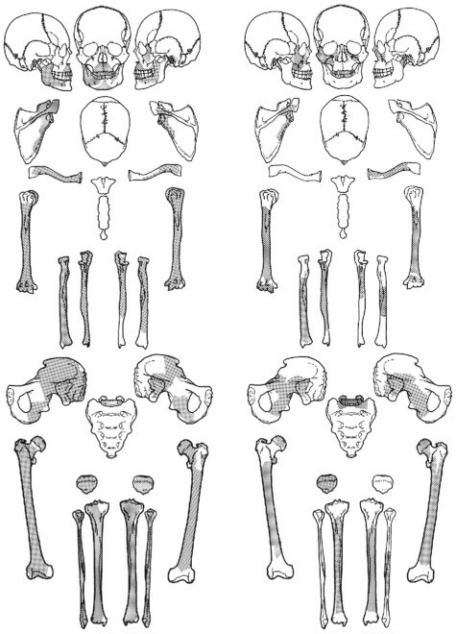
／	／	6	5	4	／	／	1	1	2	3	／	／	6	7	／
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／

咬耗度はBrocaの1～2度である。

3．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。



6号人骨（女性）　　7号人骨（女性）

図２－２　人骨の残存部（アミかけ部分）
（Fig.2-2.　Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.）

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。三角筋粗面の発達は良好で、扁平である。計測値は、中央最大径が18mm(右)、19mm(左)、中央最小径は14mm(右)、13mm(左)で、骨体断面示数は77.78(右)、68.42(左)となり、左側骨体はかなり扁平である。骨体最小周は51mm(右)、51mm(左)、中央周は53mm(右)、54mm(左)で、骨体は細い。

②橈骨・尺骨

橈骨も尺骨も両側とも残っていた。骨体はかなり細いが、骨間縁の発達は良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨および膝蓋骨が残存していた。

①寛骨

両側とも恥骨を欠損している。耳状面前溝は認められないが、大坐骨切痕の角度は大きい。

②大腿骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細く、粗線の発達もよくない。計測値は、骨体中央矢状径が23mm(右)、24mm(左)、横径は24mm(右)、25mm(左)で、骨体中央断面示数は95.83(右)、96.00(左)となり、粗線と骨体両側面の後方への発達は悪い。骨体中央周は75mm(右)、77mm(左)で、骨体は細い。また、上骨体断面示数は68.97(右)となり、骨体上部はかなり扁平である。

③脛骨

両側とも残存していた。前縁は鋭いが、骨体は細く、ヒラメ筋線の発達も悪い。骨体の断面形は両側ともヘリチカのV型を呈している。計測値は、中央最大径が24mm(右)、22mm(左)、中央横径は18mm(右)、18mm(左)で、中央断面示数は75.00(右)、81.82(左)となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は67mm(右)、64mm(左)、最小周は62mm(右)、62mm(左)で、骨体は細い。

4．性別・年令

性別は、大坐骨切痕の角度が大きく、四肢骨の径が小さいことから、女性と推定した。年令は不明である。

8号墓人骨（男性・年齢不明）

埋葬遺構は桶棺で、桶棺を倒している。埋葬姿勢は坐位と思われるが、頭蓋の位置と向きおよび寛骨の位置が不自然である。

1．頭蓋

発掘時の写真には保存良好な頭蓋が写っているが、現存しない。残っていたのは遊離歯1本(下顎右側中切歯)のみである。咬耗度はBrocaの2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。

2．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、橈骨、尺骨が残存していたが、上腕骨は残っていない。

①橈骨・尺骨

右側の橈骨と尺骨が残っていた。骨体は大きく、骨間縁の発達も良好である。

(2) 下肢骨

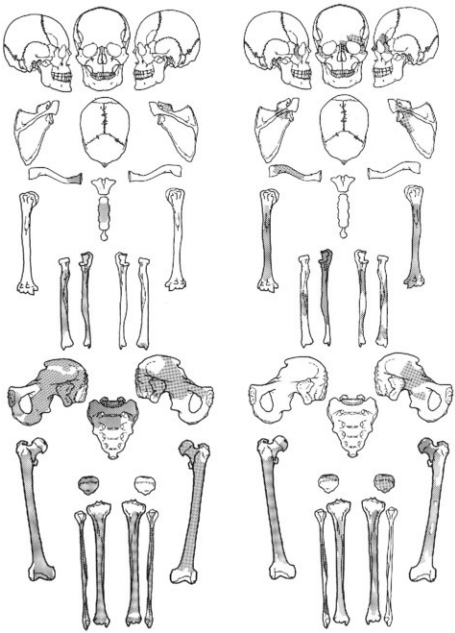
寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨および膝蓋骨が残存していた。

①寛骨

両側とも腸骨・恥骨が残存していた。大坐骨切痕の角度は小さい。左側の寛骨臼には骨折の跡がみられる。

②大腿骨

両側の骨体が残存していた。骨体は長く、太く、骨体両側面の発達はきわめて良好である。計測値は、骨体中央矢状径が32mm(右)、31mm(左)、横径は23mm(右)、27mm(左)で、骨体中央断面示数は139.13(右)、114.81(左)となり、骨体両側面は後方へよく発達しており、柱状を呈している。その程度



8号人骨（男性）　　9号人骨（男性）

図２－３　人骨の残存部（アミかけ部分）
（Fig.2-3. Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.）

は縄文人並みである。骨体中央周は87mm(右)、86mm(左)で、骨体は太い。また、上骨体断面示数は89.29(右)、74.19(左)となり、左側の骨体上部はかなり扁平である。なお、左側には頭部を中心に骨折の跡が認められる。

③腓骨

両側とも残存していた。骨体は大きい。ヒラメ筋線の様態は不明である。骨体の断面形は両側ともヘリチカのV型を呈している。計測値は、中央最大径が29mm(右)、26mm(左)、中央横径は22mm(右)、22mm(左)で、中央断面示数は75.86(右)、84.62(左)となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は80mm(右)、76mm(左)、最小周は76mm(右)、71mm(左)で、右側骨体は大きい。

3．性別・年令

性別は、大坐骨切痕の角度が小さく、四肢骨の径が大きいことから、男性と推定した。年令は不明である。

9号墓人骨（男性・年齢不明）

埋葬遺構は桶棺で、桶棺を倒して埋置している。埋葬姿勢は本来は坐位であったと思われるが、判然としない。

1．頭蓋

発掘時の写真には頭蓋が写っているが、残存していたのは顔面頭蓋のごく一部である。

2．歯

遊離歯が残存していた。残存歯は次のとおりである。

／／／／／3／1	1／3／5／／／
／7 6／／／／／	／／／／／／／／

咬耗度はBrocaの１～２度である。

3．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。骨体はやや大きく、三角筋粗面の発達は良好である。計測値は、中央最大径が22mm(右)、22mm(左)、中央最小径は16mm(右)、17mm(左)で、骨体断面示数は72.73(右)、77.27(左)となり、右側骨体はかなり扁平である。骨体最小周は60mm(右)、60mm(左)、中央周は65m(右)、65mm(左)で、骨体は大きい。

②橈骨・尺骨

橈骨も尺骨も両側とも残っていたが、保存状態はよくない。骨体は太く、骨間縁の発達は良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨および膝蓋骨が残存していた。

①寛骨

左側の一部が残存していた。大坐骨切痕の角度は明確ではない。

②大腿骨

両側の骨体が残存していたが、左右で骨体の形態が異なっている。骨体はやや太く、左側は骨体両側面の発達がきわめて良好である。計測値は、骨体中央矢状径が26mm(右)、29mm(左)、横径は27mm(右)、29mm(左)で、骨体中央断面示数は96.30(右)、100.00(左)となり、左側の骨体両側面は後方へよく発達している。骨体中央周は85mm(右)、88mm(左)で、骨体はやや太い。また、上骨体断面示数は83.87(右)となり、右側の骨体上部の扁平性は弱い。

③脛骨

両側とも残存していた。骨体はやや大きい。ヒラメ筋線の様態は不明である。骨体の断面形は両側ともヘリチカのⅡ型を呈している。計測はほとんどできないが、計測値は、中央最大径が29mm(左)、

最小周は74mm(左)で、骨体は太く、扁平性はまったく認められない。

4．性別・年令

性別は、四肢骨の径が大きいことから、男性と推定した。年令は不明である。

１０号墓人骨（女性・壮年）

埋葬遺構は桶棺で、桶棺を倒して埋置している。本例も埋葬姿勢は本来は坐位であったと思われるが、残りが少なく判然としない。

1．頭蓋

脳頭蓋と下顎骨が残存していた。頭蓋壁は厚い。外後頭隆起部は突出している。三主縫合のうちラムダ縫合と矢状縫合は内外両板が開離しているが、観察できた冠状縫合左側部は内外両板とも癒合している。脳頭蓋の計測はできないが、観察したところ、頭型は長頭型に傾いているようである。
下顎骨には歯が１本も釘植しておらず、歯槽は萎縮している。上顎左側犬歯、上顎左側第二小臼歯の２本の遊離歯が残存していた。咬耗は強く、咬耗度はBrocaの２度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。

2．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していたが、残存量は少ない。

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細く、三角筋粗面の発達もよくない。計測値は、中央最大径が20mm(右)、19mm(左)、中央最小径は14mm(右)、14mm(左)で、骨体断面示数は70.00(右)、73.68(左)となり、骨体は扁平である。骨体最小周は53mm(左)、中央周は57m(右)、57mm(左)で、骨体はやや細い。

②橈骨・尺骨

左側の橈骨と尺骨の骨体が残っていたが、保存状態はよくない。骨体は細い。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨が残存していた。

①寛骨

右側の大坐骨切痕部が残っていた。その角度は広い。

②大腿骨

両側の骨体が残存していた。粗線は細いが、明瞭である。しかし、骨体両側面の後方への発達はみられない。計測値は、骨体中央矢状径が25mm(左)、横径は25mm(左)で、骨体中央断面示数は100.00(左)となるが、これは粗線の発達が良好であるためである。骨体中央周は79mm(左)である。また、上骨体断面示数は73.33(右)となり、右側の骨体上部はかなり扁平である。

③脛骨

両側とも残存していたが、両側とも中央部のみである。骨体はやや小さい。ヒラメ筋線の様態は不明である。骨体の断面形は両側ともヘリチカのⅡ型を呈している。計測値は、中央最大径が25mm(左)、中央横径は16mm(左)で、中央断面示数は64.00(左)となり、骨体は扁平である。骨体周は66mm(左)で、骨体は細い。

3．性別・年令

性別は、大坐骨切痕の角度が大きく、四肢骨が小さいことから、女性と推定した。年令は、下顎歯が脱落し、歯槽の吸収が認められるが、三主縫合のうちラムダ縫合と矢状縫合が内外両板とも開離していることから、壮年としておきたい。

１１号墓人骨（男性・年齢不明）

埋葬遺構は桶棺で、本例も桶棺を倒して埋置している。埋葬姿勢は屈葬であるが、本来は坐位であったと思われる。

1．頭蓋

出土時の写真には保存良好な頭蓋が写っているが、残存していたのは上顎骨などのごく一部と下顎骨である。上顎骨歯槽突起には歯槽性突顎の傾向がみられる。

2．歯

歯も残存していた。歯槽の状態と残存歯は次のとおりである。

8 7 6 5 4 ／ 2 1	① 2 3 4 5 ／ ／
8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 ⑧

咬耗度はBrocaの１～２度である。

3．四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

①上腕骨

両側の骨体が残存していた。三角筋粗面の発達は比較的良好である。計測値は、中央最大径が22mm(右)、22mm(左)、中央最小径は17mm(右)、17mm(左)で、骨体断面示数は77.27(右)、77.27(左)となり、骨体の扁平性はあまり強くない。骨体最小周は62mm(右)、61mm(左)、中央周は64m(右)、65mm(左)で、骨体はやや太い。

②橈骨・尺骨

橈骨も尺骨も両側とも残っていた。骨体はあまり太くはないが、骨間縁の発達は良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨が残存していた。

①大腿骨

両側の骨体と骨頭が残存していた。粗線や骨体両側面の後方への発達はよくない。計測値は、骨体中央矢状径が24mm(右)、26mm(左)、横径は29mm(右)、29mm(左)で、骨体中央断面示数は82.76(右)、89.66(左)となり、粗線や骨体両側面の後方への発達は悪い。骨体中央周は85mm(右)、85mm(左)である。また、上骨体断面示数は77.42(右)、83.33(左)となり、右側の骨体上部は扁平である。

②脛骨

両側とも残存していた。骨体はやや大きい。ヒラメ筋線の様態は不明である。骨体の断面形は両側ともヘリチカのⅡ型を呈している。計測値は、中央最大径が28mm(右)、中央横径は20mm(右)で、中央断面示数は71.43(右)となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は75mm(右)、最小周は

68mm(右)、69mm(左)で、骨体は太い。

4．推定身長値

橈骨最大長から、Pearsonおよび藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ159.20cm(Pearson、左)、157.32cm(藤井、左)となり、この推定値は近世人としては高身長値である。

5．性別・年令

性別は、四肢骨の径が大きいことから、男性と推定した。年令は不明である。

12号墓人骨（男性・年齢不明）

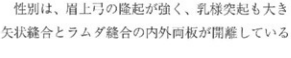
出土時の写真には頭蓋や寛骨、大腿骨が写っているが、残存していたのは頭蓋の一部にすぎない。乳様突起はかなり大きい。遊離歯が1本(下顎右側第二大臼歯)残存していた。咬耗度はBrocaの2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)である。

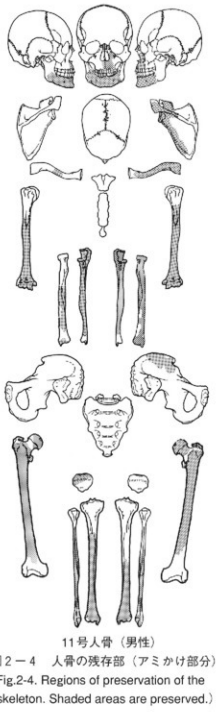
性別は、乳様突起がかなり大きいことから、男性と推定したが、年齢は不明である。

13号墓人骨（男性・壮年）

発掘時の写真をみると、埋葬施設は桶棺で、膝が立った状態で出土しているので、坐葬であろう。保管されていたのは頭蓋のみである。脳頭蓋が残っていたが、接合・復元できない。頭蓋壁は厚く、眉上弓の隆起は強い。乳様突起は大きく、外後頭隆起部は大きく後方へ突出している。矢状縫合とラムダ縫合の観察ができたが、両方とも内外両板は開離している。上顎骨の左側歯槽突起が残存していた。

歯槽の状態を歯式で示した。





11号人骨（男性）

図2－4　人骨の残存部（アミかけ部分）
(Fig.2-4. Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

性別は、眉上弓の隆起が強く、乳様突起も大きく、骨壁が厚いことから、男性と推定した。年齢は、矢状縫合とラムダ縫合の内外両板が開離していることから、壮年と思われる。

１４号墓人骨（幼児）

埋葬施設は箱棺である。乳歯と永久歯の歯冠の形成程度から、１歳前後の幼児と推定した。

１５号墓人骨（男性・熟年）

埋葬施設はよくわからない。残存していたのは頭蓋のみで、おもに脳頭蓋のうしろ半分である。骨壁は厚い。眉間はやや隆起し、外後頭隆起部は全体として後方へ突出している。ラムダ縫合は内外両板とも開離しているが、冠状縫合は内板は癒合し、外板にも癒合が進行している。

性別は、頭蓋壁が厚く、眉間がやや隆起していることから、男性と推定した。年齢は、ラムダ縫合では内外両板が開離しているが、冠状縫合では内板は癒合し、外板にも癒合が進行していることから、熟年としておきたい。

考　察

愛媛県矢山平山および山口県、福岡県の近世人骨との比較をおこなってみた。頭蓋と主要な四肢骨について比較したが、男性の脳頭蓋および男女の顔面頭蓋の計測ができなかったので、頭蓋については女性の頭型についてのみ比較検討をおこなった。

１．頭蓋

表４は女性の脳頭蓋の比較表である。女性２例について頭蓋長幅示数を算出することができたが、２例でこの示数値が大きく異なっている。１例(２号墓人骨)は81.25となり、短頭型であるが、もう１例(３号墓人骨)は70.31となり、長頭型に属している。この２例の平均値は、75.78となり、中頭型に属していることになるが、実際には中頭型を示すものはなく、平均値が実態を表していない。平均値を算出する際には十分注意する必要がある。表４をみてみると、２号墓人骨の値は表４では最大値となるが、比較資料のなかでは宗玄寺の平均値に近い。一方、３号墓人骨の値は、最小値となるが、矢田平山に近い。筆者は、近世人の頭型に関して、考察をおこない、矢田平山の報告書では以下のように述べた。

『頭蓋長幅示数にはかなりはっきりした傾向がうかがえ、北九州市の宗玄寺や福岡市の天福寺などの都市部の近世人や武家層では、この示数値が中世人よりも大きくなって、頭型としては中頭型に属するようになるが、上清水のように北九州市でも南部の農村地帯や長崎県五島列島の属島である頭ケ島の白浜や山口県豊北町の大河浜のような地方の近世人ではまだ頭蓋長幅示数が小さく、中世人なみの値で、頭型としては中世人同様、長頭型に属したままである。京町は北九州市の小倉駅のすぐそばの遺跡であるが、平均値としては長頭型の下限にあり、宗玄寺・天福寺グループと上清水・白浜・大河浜グループの中間値を示しており、被葬者の性格を想像することができる。おそらく京町は武家層を中心としたものではなく、商人、町人、漁民などを埋葬した墓地だった可能性が強い。

矢山平山の頭蓋長幅示数は小さく、同じ愛媛県の七反地中世人と大差なく、上清水、白浜、大河浜など当時の都会から外れた地方の近世人の特徴を明確に示しており、頭蓋長幅示数のありかたや変化を知る上で興味深い資料を追加できた。』

本例では頭蓋長幅示数を算出できたものがわずか２例で、しかも２例に大きな差があるために、南江戸桑田近世人の頭型が実際は長頭型に傾いているのかどうかは、明確ではない。また、顔面頭蓋の特徴も明らかにすることができなかったことは残念である。

2．四肢骨

(1) 上腕骨

表5は男性上腕骨の比較表である。長さは不明である。骨体の大きさを中央周と最小周の値でみてみると、中央周は開善寺よりも大きいものの、その他の資料よりは小さい。骨体最小周はやはり開善寺についで小さな値となるが、比較資料の中では、宗玄寺にもっとも近く、骨体は細い。骨体断面示数は、大河浜、白浜、宗玄寺、生往寺、日焼、開善寺よりも小さく、京町、矢田平山に近いが、矢田平山よりは骨体の扁平性は強くない。

表6は女性上腕骨の比較表である。最大長は開善寺、生往寺、上清水よりは大きいが、大河浜、白浜、日焼、宗玄寺、京町よりは小さく、長さは短い。中央周は開善寺と大差ないが、他の資料よりは小さい。最小周は開善寺についで小さく、骨体は細い。骨体断面示数は上清水、白浜、大河浜、矢田平山よりは大きいが、日焼、生往寺、京町よりは小さく、開善寺、宗玄寺に近い。矢田平山と比較すれば、骨体の扁平性はこれよりも弱い。

(2) 大腿骨

表7は男性大腿骨の比較表である。骨体の太さを骨体中央周の値でみてみよう。本例の中央周は、開善寺、生往寺、宗玄寺、京町よりは大きいが、表7で最大値を示す矢田平山の91.17mm(左)よりは小さく、また日焼、大河浜、上清水よりも小さい。矢田平山との差はかなり大きい。骨体中央断面示数は開善寺と大差なく、その他の資料よりは大きい。上骨体断面示数は矢田平山の81.81を超えて、表7では最大値となり、骨体の上部の扁平性は弱い。

表8は女性大腿骨の比較表である。骨体中央周は開善寺よりは大きいが、大河浜、日焼、上清水よりは小さく、宗玄寺、白浜、矢田平山、京町、生往寺に近い。骨体中央断面示数は表8では上清水についで小さく、矢田平山との差は大きい。また、上骨体断面示数は大河浜、上清水よりも大きいが、開善寺、宗玄寺、白浜、京町よりは小さく、骨体上部はかなり扁平である。

(3) 腰骨

表9は男性腸骨の比較表である。骨体周は開善寺よりは大きいが、日焼、大河浜、矢田平山、白浜、上清水よりは小さく、京町、生往寺、宗玄寺と大差ない。また、最小周は大河浜、日焼、矢田平山よりは小さいが、開善寺、宗玄寺、京町、生往寺よりも大きく、白浜にもっとも近い。中央骨体断面示数は生往寺、日焼、開善寺よりは小さいが、大河浜、上清水よりは大きく、矢田平山、京町、宗玄寺、白浜に近く、骨体には扁平性は認められない。

表10は女性腸骨の比較表である。最大長は開善寺、京町についで小さく、長さは短い。骨体周は開善寺についで小さく、生往寺に近い。最小周は開善寺、生往寺、京町、宗玄寺よりは大きいが、大河浜、日焼、矢田平山、白浜、上清水よりは小さく、骨体は細い。中央骨体断面示数は矢田平山、宗玄寺、日焼、生往寺、京町よりは大きいが、大河浜よりも小さく、開善寺、上清水、白浜と大差なく、骨体には扁平性は認められない。

3．推定身長値

推定身長が算出できたのは男女それぞれ1例であった。表11は男性の比較表である。橈骨からの推定値は159.20cmで、近世人としてはやや高い。大腿骨からの推定値が得られなかったので、身長値は明確ではないが、生往寺、宗玄寺、日焼、白浜の例をみてみると、橈骨から算出した値と大腿骨から算出した値に大きな差がないので、男性の身長値は159cm前後とみられる。

表12は女性の比較表である。女性の場合は上腕骨からは144.46cm、脛骨からは143.92cmで、身長はかなり低い。女性の場合も大腿骨からは算出できなかったが、京町、生往寺、宗玄寺では上腕骨、大腿骨、脛骨からの推定値に大差がない。従って、本例も144cm前後の身長値とみておいて差し支えないようである。

要　約

愛媛県松山市南江戸５丁目に所在する南江戸桑山遺跡が宅地開発に伴って1988年(昭和63年)に発掘調査がおこなわれた。この発掘調査で15基の近世墓から15体の人骨が出土した。愛媛県での近世人骨の報告例はきわめて珍しく、今後、近世人骨の研究にとって貴重な資料となるものである。出土人骨の人類学的観察や計測をおこない、次の所見を得た。

1. 南江戸桑山遺跡から出土した近世人骨は合計15体である。そのうち成人骨は11体で、男性骨は６体、女性骨は５体である。また、幼小児骨は４体(26.7％)であった。
2. この15体の人骨は、考古学的所見より、近世に属する人骨である。
3. 頭蓋長幅示数が算出できたのは女性２例のみで、１例は81.25となり、短頭型に、もう１例は70.31となり、長頭型に属していた。
4. 顔面頭蓋の観察や計測はできなかった。
5. 鼻根部の観察もできなかった。
6. 上腕骨は、男女とも細い。男性では骨体の扁平性はあまり強くないが、女性骨体はやや扁平である。
7. 大腿骨は、男性の骨体はやや細い方で、矢山平山ほど太くない。女性骨体もやや細いが、矢田平山よりはわずかに大きい。男性には骨体両側面が後方へ発達したものがみられたが、女性では粗線と骨体両側面の後方への発達はみられない。また、男性では骨体上部の扁平性は弱いが、女性はかなり扁平である。
8. 脛骨の大きさは男女とも中程度で、矢田平山ほど太くはない。また、骨体の扁平性は男女ともに認められない。
9. 男性の推定身長値は159.20cm(橈骨からの推定値)となり、近世人としては高身長に属している。女性は144.46cm(上腕骨からの推定値)、143.92cm(脛骨からの推定値)となり、低身長値である。　男女ともに大腿骨からの推定値を算出することができなかったが、他の資料とも検討してみたところ、大腿骨からの推定値もこの推定値と大差ないものと推定され、男性はやや高身長、女性は低身長と思われる。
10. 左側股関節の骨折例が１例みられた(８号墓人骨、男性)。
11. 筆者がかかわった愛媛県での近世人骨の報告例が本遺跡で２遺跡目になった。初例は今治市の矢山平山遺跡出土人骨である。矢田平山近世人には、中世人の特徴である長頭性、鼻根部の扁平性、歯槽性突顎のうち長頭性、鼻根部の扁平性が認められ、北九州地域の都市部とは違い、山口県豊北町や北九州南部の農村地域、あるいは長崎県五島列島の島などと同じような傾向が認められ、近世において都市部と地方、あるいは階層による差異が次第に明らかになってきた。松山市平野に位置する本遺跡から出土した近世人骨にはどのような特徴があるのか、興味深く、人骨を観察・計測し、その結果を考察してきた。埋葬施設が桶棺(早桶)であるにもかかわらず、桶を垂直に埋置するので

はなく、わざわざ倒している。これは新しい埋葬様式が導入されても、遺体を座らせて葬ることに抵抗があり、わざと寝かせて埋葬することを意図したものかもしれない。出土時の写真をみると、保存状態のいい頭蓋が残っていたようであるが、残念ながら今回はその頭蓋を見出すことができなかったので、本近世人の頭蓋の特徴が明らかにならなかった。ただ女性2例については頭型を明らかにすることができた。短頭型と長頭型という相反する頭型であったために、本近世人の頭型を一言で言い表すことができなかった。しかし、短頭型といっても中頭型に近いものであるので、本近世人が短頭型に傾くとは考えがたい。問題は長頭性の程度なのであるが、これは新たな人骨が出土し、考察をおこなう際に検討してみたい。四肢骨については、骨体が男女とも細く、矢山平山近世人との差がかなり大きい。推定身長は、男性は近世人としてはやや高身長に、女性は低身長であることが予想された。一般的な傾向として地方の方が身長がやや高い傾向にある。男性のやや高めの身長はこの傾向に通じるものかもしれない。四肢骨が矢田平山近世人よりも細いことなどは彼らとは異なった生業に携わっていた可能性が強い。本遺跡の埋葬様式や出土遺物から被葬者の所属していた階層や生業形態が知りたいところである。愛媛県での近世人骨の特徴にはまだ謎が多い。今後の出土例の増加を待ってさらに検討を深めていきたい。

謝辞

≪擱筆するにあたり、本研究と発表の機会を与えていただいた松山市埋蔵文化財センターの皆様方に感謝致します。≫

参考文献

1. Martin-Saller, 1957：Lehrbuch der Anthropologie. Bd.I.Gustav Fischer Verlag, Stuttugart：429－597.
2. 松下孝幸、1983a：山口県山口市西小路遺跡出土の近世人骨。玉祖遺跡・西小路遺跡（山口県埋蔵文化財調査報告70）：187－190.
3. 松下孝幸・他、1983b：山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次調査概報（豊北町埋蔵文化財調査報告2）：19－30.
4. 松下孝幸・他、1986：山口県下松市梅の木原遺跡出土の火葬骨。梅ノ木原遺跡（山口県埋蔵文化財調査報告第98集）：107－112.
5. 松下孝幸・他、1990：広島県東広島市石仏遺跡出土の中・近世人骨。山陽自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅴ（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第84集）：292－296.
6. 松下孝幸・他、1992：北九州市上清水遺跡出土の近世人骨。上清水遺跡Ⅴ区（奈良時代以降編）（北九州市埋蔵文化財調査報告書第117集）：416－441.
7. 松下孝幸・他、1992：東広島市古市遺跡出土の近世人骨。西城第一土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ（東広島市教育委員会文化財調査報告書第21集）：105－126.
8. 松下孝幸、1993：北九州市京町遺跡出土の近世人骨。京町遺跡（北九州市文化財調査報告書第59集）：177－248.
9. 松下孝幸・他、1994：山口県豊北町大河浜遺跡出土の人骨。大河浜遺跡（山口県埋蔵文化財調査報告第165集）：11－21.
10. 松下孝幸、1995a：北九州市宗玄寺跡出土の近世人骨。宗玄寺跡（北九州市埋蔵文化財調査報告書第172集）502－542.
11. 松下孝幸・他、1995b：愛媛県今治市相の谷古墳群出土の古墳時代人骨。相の谷古墳群杉谷支群埋蔵文化財発掘調査報告書（埋蔵文化財発掘調査報告書第57集）：41－54.

12. 松下孝幸、1996a：北九州市普済院跡出土の近世人骨。折尾横穴群内普済院跡：95－121.
13. 松下孝幸、1996b：長崎県有川町頭ヶ島白浜遺跡出土の近世人骨。頭ヶ島白浜遺跡（有川町文化財調査報告書第1集）：67－87.
14. 松下孝幸、1997a：広島県三次市帰海寺谷遺跡出土の近世人骨。県営は場整備事業（川西東部・南部地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第157集）：131－135.
15. 松下孝幸、1997b：柳井市鳥越遺跡出土の近世人骨。鳥越遺跡発掘調査報告－和田山浄水場配水池建設に伴う発掘調査－：6－12.
16. 松下孝幸、1997c：福岡県犀川町吉川平原古墳出土の古墳時代・近世人骨。吉川平原古墳群（犀川町文化財調査報告書第5集）：82－98.
17. 松下孝幸、1998a：広島県庄原市一の谷第7号古墓出土の近世人骨。一の谷第6・7号古墳（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第170集）：47－50.
18. 松下孝幸、1998b：山口県豊北町堤迫・道祖ノ本遺跡出土の近世人骨。堤迫・道祖ノ本遺跡（山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第15集）：37－59.
19. 松下孝幸、1998c：山口県阿知須町神正遺跡出土の近世人骨。赤迫遺跡B地区発掘調査報告（阿知須町埋蔵文化財発掘調査報告書第15集）：116－122.
20. 松下孝幸、1998d：北九州市下到津近世墓出土の火葬骨。下到津近世墓－福岡県北九州市所在の下到津近世墓の発掘調査報告書－：9－11.
21. 松下孝幸、1998e：長登銅山跡出土の近世時代人骨。長登銅山跡Ⅱ（美東町文化財調査報告第8集）：52－55.
22. 松下孝幸、1998f：愛媛県伊予市原池遺跡出土の人骨。四国縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書XII伊予市編Ⅱ：175－180.
23. 松下孝幸、1998g：愛媛県松山市宮前川北斎院遺跡出土の古墳時代人骨。斎院・古照－新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書－（遺物編）：525－531.
24. 松下孝幸、1998h：愛媛県松山市古照遺跡出土の中世人骨。斎院・古照－新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書（遺物編）：532－538.
25. 松下孝幸、1999a：広島県東広島市西本3・4号遺跡出土の近世人骨。西本3・4号遺跡（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第175集）：123－139.
26. 松下孝幸、1999b：愛媛県八幡浜市ウラショウジ遺跡出土の中世人骨。愛媛県歴史博物館研究紀要第4号：96－123.
27. 松下孝幸、1999c：北九州市常盤橋西勢溜り跡出土の近世・近代人骨。常盤橋西勢溜り跡（北九州市埋蔵文化財調査報告書第229集）：付論1－12.
28. 松下孝幸、1999d：愛媛県八幡浜市ウラショウジ遺跡出土の中世人骨。愛媛県歴史博物館研究紀要第4号：132－140.
29. 松下孝幸、2000a：愛媛県今治市二の谷2号墳出土の古墳時代人骨。旦遺跡・宮之前遺跡・長沢石打遺跡・長沢1号墳・長沢6号墳・二の谷2号墳・鉄叉古墳群・郷桜井西塚古墳（一般国道196号今治バイパス埋蔵文化財調査報告書IV）（埋蔵文化財発掘調査報告書第87集）：232－249.
30. 松下孝幸、2000b：愛媛県松山市七反地遺跡出土の中世人骨。道ヶ谷古墳・池の奥遺跡・平田七反地遺跡（一般国道196号松山北条バイパス埋蔵文化財調査報告書II）（埋蔵文化財発掘調査報告書第86集）：391－422.
31. 松下孝幸、2000c：愛媛県今治市矢田平山近世墓出土の近世人骨。阿方泰岡遺跡・阿方牛ノ江遺跡・矢田八反坪遺跡・矢田大出口遺跡・矢田平山近世墓・矢田平山古墳・矢田平山遺跡（一般国道196号今治北道路埋蔵文化財調査報告書）（埋蔵文化財発掘調査報告書第88集）：271－318.
32. 松下孝幸、2002：北九州市京町遺跡第3地点出土の近世人骨。北九州市京町遺跡第3地点（北九州市生往寺境内発掘調査報告）：99－140.

33. 松下孝幸、北九州市聞善寺跡出土の近世人骨。(投稿中)
34. 松下孝幸、太宰府市日焼遺跡出土の近世人骨。(投稿中)
35. 中橋孝博、1987：福岡市天福寺出土の江戸時代人頭骨。人類誌、95：89－106.
36. 鈴木尚、1963：日本人の骨。岩波書店、東京。

表4　脳頭蓋計測値(女性、mm)(Table4. Comparison of female calvarial measurements and indices)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県	南江戸桑田 近世人 愛媛県	矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京　町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		天福寺 近世人 福岡県 (中橋)		日　焼 近世人 福岡県 (松下)		白　浜 近世人 長崎県 (松下)	
		2 号	3 号	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	頭蓋最大長	176	192	4	177.00	3	185.67	6	172.33	24	172.08	14	174.00	35	172.71	7	176.57	38	174.7	2	179.50	12	178.83
8.	頭蓋最大幅	143	135	2	126.50	3	133.67	5	136.20	24	132.33	14	137.21	36	136.50	8	131.50	38	133.5	2	134.00	11	128.73
17.	バジオン・ブレグマ高	—	—		—	3	140.67	2	132.00	10	134.70	10	134.60	27	136.33	5	128.00	35	132.7	2	133.00	11	130.91
8/1	頭蓋長幅示数	81.25	70.31	2	72.73	3	71.99	5	78.71	22	77.10	14	78.98	33	79.40	4	73.50	38	76.5	2	74.66	11	72.24
17/1	頭蓋長高示数	—	—		—	3	75.76	2	77.43	10	77.79	10	77.68	25	78.48	4	74.53	35	76.1	2	74.09	11	73.43
17/8	頭蓋幅高示数	—	—		—	3	105.32	2	102.34	8	100.60	10	99.22	27	99.61	3	97.73	35	99.4	2	99.35	11	101.73
1+8+17/3	頭蓋モスレス	—	—		—	3	153.33	2	143.83	8	147.08	10	148.00	25	149.07	3	144.00		—	2	148.83	11	145.97
23.	頭蓋水平周	—	—		—	3	525.00	4	496.25	11	496.91	13	500.23	32	498.97	1	493	36	497.4	2	508.00	10	496.30
24.	横弧長	—	—		—	3	302.67	4	308.75	15	301.20	13	313.54	34	309.03	3	295.00	35	303.0	2	303.00	11	294.91
25.	正中矢状弧長	—	—		—	3	385.33	2	359.50	8	357.13	8	366.00	25	364.48	2	352.00	34	364.2	2	375.00	11	364.45

表5　上腕骨計測値(男性、右、mm)(Table 5. Comparison of measurements and indices of male right humeri)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京　町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		日　焼 近世人 福岡県 (松下)		白　浜 近世人 長崎県 (松下)	
		n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	上腕骨最大長		—		—	3	286.33	1	279	5	287.40	12	291.75	23	290.61	1	(301)	1	301	8	292.75
5.	中央最大径	2	22.00	5	22.80	4	23.25	10	20.20	112	22.56	18	23.06	57	22.05	11	22.91	3	23.67	18	22.28
6.	中央最小径	2	16.50	5	17.00	4	18.25	10	15.40	112	16.96	18	17.78	57	17.16	11	17.00	2	18.00	18	17.39
7.	骨体最小周	2	61.00	5	62.80	4	65.50	11	57.45	89	62.13	17	65.35	49	61.84	8	62.25	3	64.00	18	63.00
7(a).	中央周	2	64.50	5	66.80	4	69.00	10	60.10	112	66.34	18	67.17	57	65.74	11	66.91	2	67.50	18	66.89
6/5	骨体断面示数	2	75.00	5	74.58	4	80.07	10	76.71	112	75.38	18	77.56	57	78.01	11	74.32	2	76.91	18	78.24
7/1	長厚示数		—		—	3	22.62	1	20.43	4	21.39	11	21.58	18	21.39	1	(20.60)	1	21.59	8	21.70

表6　上腕骨計測値(女性、右、mm)(Table 6. Comparison of measurements and indices of female right humeri)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京　町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		日　焼 近世人 福岡県 (松下)		白　浜 近世人 長崎県 (松下)	
		n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	上腕骨最大長	1	265　(左)		—	3	295.00	1	242	5	268.20	9	260.26	12	269.83	1	262	2	(271.00)(左)	6	281.33
5.	中央最大径	5	18.40	2	19.50	3	22.00	7	18.57	46	19.43	17	19.76	44	19.80	14	20.93	3	22.00	11	20.64
6.	中央最小径	5	13.60	2	14.00	3	15.67	7	13.86	46	14.65	17	15.18	44	14.66	14	14.71	3	17.00	11	14.73
7.	骨体最小周	3	52.00	2	54.00	3	60.00	7	50.43	37	53.62	16	54.50	36	54.47	8	55.50	3	59.00	11	55.27
7(a).	中央周	5	53.60	2	55.50	3	64.33	7	53.86	46	56.65	17	58.12	44	57.64	14	60.07	3	64.00	12	58.75
6/5	骨体断面示数	5	74.11	2	71.71	3	71.31	7	74.81	6	75.71	17	77.09	44	74.27	14	70.49	3	77.27	11	71.52
7/1	長厚示数	1	21.13(左)		—	3	20.38	1	19.01	5	19.87	9	20.34	9	20.20	1	16.41	2	(22.51)(左)	6	20.20

表7 大腿骨計測値(男性、右、mm)(Table 7. Comparison of measurements and indices of male right femora)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京 町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		日 焼 近世人 福岡県 (松下)		白 浜 近世人 長崎県 (松下)	
		n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	最大長		—		—	4	401.25	1	389	15	401.27	8	405.75	23	407.83		—	1	413	12	418.25
2.	自然位全長		—		—	4	398.00	1	387	14	398.50	7	403.43	24	401.75		—	1	412	12	415.25
6.	骨体中央矢状径	3	27.33	7	28.71(左)	4	28.25	6	26.50	162	26.56	23	26.48	45	26.78	8	26.63	4	29.00(左)	16	27.50
7.	骨体中央横径	3	26.33	7	29.43(左)	4	28.00	6	24.83	162	26.99	23	25.83	45	25.93	8	29.38	5	28.20(左)	16	26.19
8.	骨体中央周	3	85.67	7	91.86(左)	4	88.75	6	81.17	161	84.91	23	82.30	44	83.41	8	88.50	4	89.75(左)	16	84.88
9.	骨体上横径	3	30.00	6	31.83	4	35.25	11	29.27	137	31.93	20	30.50	47	31.28	9	33.56	5	31.00(左)	16	32.31
10.	骨体上矢状径	3	25.00	6	25.83	4	25.25	11	22.91	136	24.41	20	23.90	47	24.49	9	24.11	5	25.20(左)	16	24.38
8/2	長厚示数		—		—	4	22.16	1	23	13	20.44	6	20.24	16	20.87		—	1	22.33	12	20.78
6/7	骨体中央断面示数	3	106.06	7	98.83(左)	4	100.64	6	106.99	162	98.98	23	102.94	45	103.32	8	91.51	4	104.15(左)	16	105.25
10/9	上骨体断面示数	3	83.53	6	81.81	4	72.04	11	78.40	136	76.94	20	78.53	47	78.57	9	72.65	5	81.71(左)	16	75.53

表8 大腿骨計測値(女性、右、mm)(Table 8. Comparison of measurements and indices of female right femora)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京 町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		日 焼 近世人 福岡県 (松下)		白 浜 近世人 長崎県 (松下)	
		n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	最大長		—	1	377	2	403.50	2	370.00	6	367.17	4	360.50	15	370.93	3	371.67	2	393.50	7	386.29
2.	自然位全長		—		—	2	394.50	2	366.00	5	368.80	4	356.00	14	367.64	1	362	2	389.50	7	383.14
6.	骨体中央矢状径	5	22.80(左)	6	23.67	3	26.67	8	22.75	87	23.13	16	23.06	49	23.22	17	22.24	4	25.25	13	24.77
7.	骨体中央横径	5	24.60(左)	6	23.67	3	28.00	8	22.63	87	23.52	17	23.71	49	23.86	17	25.76	4	25.00	13	22.77
8.	骨体中央周	5	74.80(左)	6	73.83	3	86.67	8	71.50	87	73.48	16	73.44	49	74.18	17	76.88	4	78.50	13	75.00
9.	骨体上横径	4	28.25	5	27.40	3	34.67	9	26.33	73	27.86	17	27.88	51	27.88	17	29.59	4	31.00	12	28.50
10.	骨体上矢状径	4	20.75	5	20.00	3	23.67	9	20.33	73	21.03	17	20.53	50	21.36	17	20.76	4	23.00	12	21.83
8/2	長厚示数		—		—	2	21.70	2	20.09	5	19.61	4	20.67	6	20.54	1	19.89	2	19.77	7	19.90
6/7	骨体中央断面示数	5	92.67(左)	6	100.40	3	95.28	8	100.90	87	98.85	16	98.17	49	97.57	17	86.56	4	101.04	13	108.99
10/9	上骨体断面示数	4	73.54	5	73.50	3	68.46	9	78.25	73	75.67	17	73.81	50	77.34	17	70.42	4	74.64	12	76.74

表9　脛骨(男性、右、㎜)(Table 9. Comparison of measurements and indices male right tibiae)

	南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河原 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京 町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		日 焼 近世人 福岡県 (松下)		白 浜 近世人 長崎県 (松下)	
	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	脛骨全長	—		—	3	316.33		—	7	324.57	12	324.75	21	326.19	1	346	1	324	8	336.88
1a.	脛骨最大長	—		—	4	330.00		—	6	327.83	12	330.33	22	332.55	2	(339.50)	1	331	8	341.75
8.	中央最大径	2	28.50	8	29.25(左)	4	30.50(左)	11	26.73	81	28.23	19	27.84	43	28.02	10	28.90	1	31	6	29.19
8a.	栄養孔位最大径	2	31.50	6	34.17(左)	4	34.25(左)	6	32.33	55	32.36	17	32.82	41	32.00	7	32.71	1	36	5	33.07
9.	中央横径	2	21.00	9	20.89(左)	4	21.25(左)	11	19.82	82	20.76	19	20.95	43	20.51	10	20.60	1	23	6	21.38
9a.	栄養孔位横径	2	23.50	6	22.17(左)	4	24.25(左)	6	23.50	55	23.15	17	23.82	43	22.74	8	22.50	2	25.00(左)	5	23.80
10.	骨体周	2	77.50	8	80.63(左)	4	83.50(左)	11	73.09	81	77.07	19	77.05	43	77.02	10	79.40	2	84.00(左)	6	79.81
10a.	栄養孔位周	2	86.50	6	93.17(左)	4	97.50(左)	6	88.50	54	87.93	17	89.12	41	87.10	7	90.00	2	99.00(左)	5	89.53
10b.	最小周	2	72.00	4	74.25(左)	4	77.25(左)	10	66.10	58	70.19	17	70.24	43	70.00	7	70.71	2	76.50(左)	5	72.73
9/8	中央断面示数	2	73.65	7	73.36(左)	4	69.62(左)	11	74.34	81	73.83	19	75.43	43	73.31	10	71.49	2	75.75(左)	6	73.29
9a/8a	栄養孔位断面示数	2	74.55	7	64.79(左)	4	70.89(左)	6	72.95	55	71.71	17	73.04	41	71.44	7	70.11	2	67.62(左)	5	72.40
10b/1	長厚示数	—		—	3	23.49		—	7	20.93	11	21.30	15	21.68	1	20.23	1	23.62	8	22.23

表10　脛骨(女性、右、㎜)(Table 10. Comparison of measurements and indices female right tibiae)

	南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河原 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京 町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		日 焼 近世人 福岡県 (松下)		白 浜 近世人 長崎県 (松下)	
	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
1.	脛骨全長	1	294 (左)		—	3	319.67	2	287.00(左)	2	297.50	5	293.20	9	305.67	1	280	2	319.50	7	303.00
1a.	脛骨最大長	1	300 (左)		—	3	325.00	2	291.00(左)	1	291	6	303.83	11	312.55	3	306.33	2	326.50	7	309.57
8.	中央最大径	5	23.00(左)	1	28	3	28.00	8	22.25	37	24.35	13	23.62	34	24.03	12	24.50	4	27.75	12	26.17
8a.	栄養孔位最大径	3	26.33	1	32 (左)	2	31.00	6	25.83	23	27.52	11	27.27	32	27.81	11	28.55	3	32.33	11	29.27
9.	中央横径	5	17.20(左)	1	17	3	21.33	8	16.63	37	17.97	14	17.43	34	17.67	12	18.42	4	19.50	12	19.67
9a.	栄養孔位横径	3	20.00	1	19 (左)	2	23.00	6	18.67	23	19.96	12	19.92	32	19.53	11	20.36	3	21.33	11	21.73
10.	骨体周	5	65.40(左)	1	71	3	78.67	8	62.75	37	67.35	13	65.69	34	66.65	12	69.25	4	74.00	12	72.83
10a.	栄養孔位周	3	74.33	1	81 (左)	2	87.00	5	71.83	23	75.70	11	74.27	32	75.38	11	79.09	3	85.67	11	79.82
10b.	最小周	4	62.25(左)	1	67	3	71.67	8	58.25	32	61.50	12	58.92	34	61.12	8	63.88	4	67.50	12	66.67
9/8	中央断面示数	5	75.47(左)	1	60.71	3	76.04	8	75.28	37	74.13	13	73.43	34	70.49	12	75.19	4	70.90	12	75.61
9a/8a	栄養孔位断面示数	3	76.01	1	59.38(左)	2	74.06	6	72.49	23	72.98	11	72.32	32	70.49	11	71.59	3	66.25	11	74.32
10b/1	長厚示数	1	21.77(左)		—	3	22.46	2	19.52(左)	2	19.80	5	20.57	8	20.11	1	21.79	2	20.97	7	22.17

表11　推定身長値(男性、cm)(Table 11. Comparison of estimated male statures)(体数での値、左右あるものは右を使用)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京　町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		天福寺 近世人 福岡県 (中橋)		日　焼 近世人 福岡県 (松下)		白　浜 近世人 長崎県 (松下)	
		n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
Pearsonの式	上腕骨		−	3	153.51	2	(150.66)	8	153.37	14	154.96	32	155.79	1	(157.75)		−	1	157.75	10	155.44
	橈骨	1	159.20	2	152.17	6	155.11	5	154.81	15	158.78	35	157.85		−		−	1	159.20	9	160.14
	大腿骨		−	4	156.74	1	154.44	23	157.93	13	158.43	29	157.82		−	24	159.4	1	158.95	12	159.94
	脛骨		−	3	152.88		−	12	156.02	13	156.07	25	156.84	1	160.87		−	1	155.65	11	158.43
藤井の式	上腕骨		−	3	153.13	2	(150.77)	8	153.30	14	154.59	32	155.83	1	(157.22)		−	1	157.22	10	155.16
	橈骨	1	157.32	2	149.70	6	153.01	5	152.42	15	156.41	35	155.53		−		−	1	157.32	9	157.73
	大腿骨		−	4	154.01	1	150.98	23	155.54	13	156.19	29	155.31		−		−	1	156.91	12	158.21
	脛骨		−	3	153.12		−	11	155.74	13	155.83	25	155.24	2	(157.86)		−	1	154.03	11	158.20

表12　推定身長値(女性、cm)(Table 12. Comparison of estimated male statures)(体数での値、左右あるものは右を使用)

		南江戸桑田 近世人 愛媛県		矢田平山 近世人 愛媛県 (松下)		大河浜 近世人 山口県 (松下)		開善寺 近世人 福岡県 (松下)		京　町 近世人 福岡県 (松下)		生往寺 近世人 福岡県 (松下)		宗玄寺 近世人 福岡県 (松下)		上清水 近世人 福岡県 (松下・他)		天福寺 近世人 福岡県 (中橋)		日　焼 近世人 福岡県 (松下)		白　浜 近世人 長崎県 (松下)	
		n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M	n	M
Pearsonの式	上腕骨	1	144.46		−	3	152.72	1	138.12	6	145.65	12	144.36	17	145.72	1	143.63		−	2	(146.80)	8	147.62
	橈骨		−		−	3	153.88	5	144.68	5	150.15	9	147.01	21	146.95		−		−	2	148.59	9	149.20
	大腿骨		−	1	146.17	2	151.33	2	144.81	10	145.82	8	144.66	19	145.22	3	145.13	20	146.5	2	149.38	10	148.12
	脛骨	1	143.92		−	3	150.43	2	142.26	4	145.10	6	144.47	13	146.22	1	140.63		−	2	149.92	7	146.04
藤井の式	上腕骨	1	144.73		−	3	151.51	1	138.90	6	145.48	12	144.41	17	145.58	1	143.66		−	2	(146.60)	8	147.19
	橈骨		−		−	3	150.96	5	142.52	5	147.71	9	144.53	21	144.77		−		−	2	146.16	9	146.65
	大腿骨		−	1	145.49	2	151.43	2	143.93	10	145.19	8	143.86	19	144.43	3	144.30		−	2	149.19	10	147.82
	脛骨	1	143.95		−	3	151.86	2	141.82	4	145.49	7	145.01	13	144.72	3	145.26		−	2	149.70	7	145.98

表13　脳頭蓋（女性、㎜）(Calvaria)

		南江戸桑田 2号	南江戸桑田 3号	平均値 n	M	Min.	—	Max.
1.	頭蓋最大長	176	192	2	194.00	176	—	192
8.	頭蓋最大幅	143	135	2	139.00	135	—	143
17.	バリオン・ブレグマ高	—	—		—			
8/1	頭蓋長幅示数	81.25	70.31	2	75.78	70.31	—	81.25
17/1	頭蓋長高示数	—	—		—			
17/8	頭蓋幅高示数	—	—		—			
1+8+17/3	頭蓋モズルス	—	—		—			
5.	頭蓋底長	—	—		—			
9.	最小前頭幅	—	93	1	93			
10.	最大前頭幅	—	—		—			
11.	両耳幅	—	—		—			
12.	最大後頭幅	—	—		—			
13.	乳突幅	—	—		—			
7.	大後頭孔長	—	—		—			
16.	大後頭孔幅	—	—		—			
16/7	大後頭示数	—	—		—			
23.	頭蓋水平周	—	—		—			
24.	横弧長	—	—		—			
25.	正中矢状弧長	—	—		—			
26.	正中矢状前頭弧長	—	—		—			
27.	正中矢状頭頂弧長	—	—		—			
28.	正中矢状後頭弧長	—	—		—			
29.	正中矢状前頭弦長	—	—		—			
30.	正中矢状頭頂弦長	—	—		—			
31.	正中矢状後頭弦長	—	—		—			
29/26	矢状前頭示数	—	—		—			
30/27	矢状頭頂示数	—	—		—			
31/28	矢状後頭示数	—	—		—			

表14　顔面頭蓋（女性、㎜、度）(Facial skeleton)

		南江戸桑田 3号
40.	顔長	—
41.	傾顔長	—
42.	下顔長	—
43.	上顔幅	101
45.	頬骨弓幅	—
46.	中顔幅	—
47.	顔高	—
48.	上顔高	—
47/45	顔示数（K）	—
48/45	上顔示数(K)	—
47/46	顔示数(V)	—
48/46	上顔示数(V)	—
40+45+47/3	顔面モズルス	—
50.	前眼窩間幅	—
44.	両眼窩幅	—
50/44	眼窩間示数	—
51.	眼窩幅（右）	—
	（左）	—
52.	眼窩高（右）	—
	（左）	—
52/51	眼窩示数（右）	—
	（左）	—
54.	鼻幅	—
55.	鼻高	—
54/55	鼻示数	—
55(1).	梨状口高	—
56.	鼻骨長	—
57.	鼻骨最小幅	—
57(1).	鼻骨最大幅	—
60.	上顎歯槽長	—
61.	上顎歯槽幅	—
62.	口蓋長	—
63.	口蓋幅	—
64.	口蓋高	—
61/60	上顎歯槽示数	—
63/62	口蓋示数	—
64/63	口蓋高示数	—
72.	全側面角	—
73.	鼻側面角	—
74.	歯槽側面角	—

表15　下顎骨(mm、度)(Mandibula)

		南江戸桑田 男性		南江戸桑田 女性				
		n	M	n	M	Min.	—	Max.
65.	下顎関節突起幅		—		—			
65(1).	下顎筋突起幅		—		—			
66.	下顎角幅		—		—			
67.	前下顎幅	1	49		—			
68.	下顎長		—		—			
68(1).	下顎長		—		—			
69.	オトガイ高	1	36	1	30			
69(1).	下顎体高(右)	1	33		—			
	(左)	1	33	2	27.50	27	—	28
69(2).	下顎体高(右)	1	26		—			
	(左)	1	26	2	20.00	19	—	21
70.	枝高(右)		—		—			
	(左)		—	1	40			
70(1).	前枝高(右)		—	2	53.50	52	—	55
	(左)		—	1	43			
70(2).	最小枝高(右)		—	2	43.50	42	—	45
	(左)		—	2	38.50	34	—	43
70(3).	下顎切痕高(右)		—		—			
	(左)		—	1	10			
71(1).	下顎切痕幅(右)		—		—			
	(左)		—	1	30			
71.	枝幅(右)		—	2	33.50	33	—	34
	(左)		—	2	30.00	28	—	32
71a.	最小枝幅(右)		—	2	33.00	33	—	33
	(左)		—	2	30.00	28	—	32
79.	下顎枝角(右)		—		—			
	(左)		—	1	138			
66/65	下顎幅示数		—		—			
68/65	幅長示数		—		—			
68(1)/65	幅長示数		—		—			
69(2)/69	下顎高示数(右)	1	72.22		—			
	(左)	1	72.22	1	63.33			
71/70	下顎枝示数(右)		—		—			
	(左)		—	1	70.00			
71a/70(2)	下顎枝示数(右)		—	2	75.95	73.33	—	78.57
	(左)		—	2	78.39	74.42	—	82.35
70(3)/71(1)	下顎切痕示数(右)		—		—			
	(左)		—	1	33.33			

表16　肩甲骨(mm)(Scapula)

		南江戸桑田 女性	
		n	M
12.	関節窩長(右)	1	33
	(左)		—
13.	関節窩幅(右)	1	23
	(左)		—
14.	関節窩深(右)	1	5
	(左)		—
13/12	関節窩長幅示数(右)	1	69.70
	(左)		—
14/12	関節窩骨曲示数(右)	1	15.15
	(左)		—

表17　鎖骨(mm)(Clavicula)

		南江戸桑田 男性 n	M		n	南江戸桑田 女性 M	σ	Min.	—	Max.
1.	鎖骨最大長(右)		—			—				
	(左)		—			—				
2a	骨体弯曲高(右)		—		1	25				
	(左)		—			—				
2(1)	肩峰端弯曲高(右)		—			—				
	(左)		—		1	28				
4.	中央垂直径(右)	1	11		3	8.67		8	—	9
	(左)	1	11		4	9.50	1.00	8	—	10
5.	中央矢状径(右)	1	13		3	11.00		10	—	12
	(左)	1	12		4	11.25	1.26	10	—	13
6.	中央周(右)	1	39		3	33.00		32	—	35
	(左)	1	37		4	33.75	3.20	29	—	36
6/1	長厚示数(右)		—			—				
	(左)		—			—				
2a/1	弯曲示数(右)		—			—				
	(左)		—			—				
4/5	鎖骨断面示数(右)	1	84.62		3	79.24		72.73	—	90.00
	(左)	1	91.67		4	84.69	7.30	76.92	—	90.91
2(1)/1	肩峰端弯曲示数(右)		—			—				
	(左)		—			—				

表18　上腕骨(mm)(Humerus)

		南江戸桑田 男性 n	M	Min.	—	Max.	南江戸桑田 女性 n	M	σ	Min.	—	Max.
1.	上腕骨最大長(右)		—					—				
	(左)						1	265				
2.	上腕骨全長(右)		—					—				
	(左)		—				1	250				
3.	上端幅(右)		—					—				
	(左)		—				1	42				
3(1).	横上径(右)		—					—				
	(左)		—				1	44				
4.	下端幅(右)		—					—				
	(左)		—					—				
5.	中央最大径(右)	2	22.00	22	—	22	5	18.40	1.67	16	—	20
	(左)	2	22.00	22	—	22	5	19.00	1.41	17	—	21
6.	中央最小径(右)	2	16.50	16	—	17	5	13.60	0.89	12	—	14
	(左)	2	17.00	17	—	17	5	13.60	0.89	13	—	15
7.	骨体最小周(右)	2	61.00	60	—	62	3	52.00	1.00	51	—	53
	(左)	2	60.50	60	—	61	5	51.60	3.05	48	—	56
7(a).	中央周(右)	2	64.50	64	—	65	5	53.60	4.10	47	—	57
	(左)	2	65.00	65	—	65	5	54.60	4.16	49	—	60
8.	頭周(右)		—					—				
	(左)		—				1	117				
9.	頭最大横径(右)		—					—				
	(左)		—				1	36				
10.	頭最大矢状径(右)		—					—				
	(左)		—				1	38				
11.	滑車幅(右)		—				2	18.50		17	—	20
	(左)		—				1	19				
12.	小頭幅(右)		—				2	15.00		14	—	16
	(左)	1	16					—				
12(a).	滑車幅および小頭幅(右)		—				1	37				
	(左)		—					—				
13.	滑車深(右)		—				1	22				
	(左)		—				1	23				
14.	肘頭高幅(右)		—				1	23				
	(左)	1	25				1	23				
15.	肘頭窩深(右)		—				1	13				
	(左)	1	11				1	12				
6/5	骨体断面示数(右)	2	75.00	72.73	—	77.27	5	74.11	3.92	70.00	—	77.78
	(左)	2	77.27	77.27	—	77.27	5	71.69	3.47	68.42	—	76.47
7/1	長厚示数(右)		—					—				
	(左)		—				1	21.13				

表19　橈骨(mm)(Radius)

		南江戸桑田 男性					南江戸桑田 女性				
		n	M	Min.	—	Max.	n	M	σ	Min.	—	Max.
1.	最大長(右)		—					—				
	(左)	1	224					—				
1b.	平行長(右)		—					—				
	(左)	1	222					—				
2.	橈骨長(右)		—				1	190				
	(左)	1	210					—				
3.	最小周(右)	1	41				3	35.33		33	—	37
	(左)	1	41				3	34.00		32	—	36
4.	骨体横径(右)	2	17.00	16	—	18	4	13.00	0.82	12	—	14
	(左)	1	15				3	12.33		11	—	13
4a.	骨体中央横径(右)	3	15.67	15	—	16	4	12.25	0.96	11	—	13
	(左)	2	15.00	14	—	16	4	12.00	0.82	11	—	13
4(1).	小頭横径(右)		—					—				
	(左)		—					—				
4(2).	頭横径(右)		—				2	11.00		11	—	11
	(左)	1	12				2	12.50		12	—	13
5.	骨体矢状径(右)	2	11.50	11	—	12	4	9.50	0.58	9	—	10
	(左)	1	11				3	10.00		9	—	11
5a.	骨体中央矢状径(右)	3	12.00	12	—	12	4	9.75	0.50	9	—	10
	(左)	2	11.50	11	—	12	4	9.75	0.50	9	—	10
5(1).	小頭矢状径(右)		—					—				
	(左)		—					—				
5(2).	頭矢状径(右)		—				2	12.00		12	—	12
	(左)	1	14				2	13.00		13	—	13
5(3).	小頭周(右)		—					—				
	(左)		—					—				
5(4).	頭周(右)		—				2	37.50		36	—	39
	(左)	1	43				2	40.50		40	—	41
5(5).	骨体中央周(右)	3	44.33	43	—	46	4	35.50	2.65	33	—	39
	(左)	2	42.50	41	—	44	4	34.75	2.06	32	—	37
5(6).	骨下端幅(右)		—					—				
	(左)		—					—				
3/2	長厚示数(右)		—				1	19.47				
	(左)	1	19.52					—				
5/4	骨体断面示数(右)	2	68.06	61.11	—	75.00	4	73.15	3.46	69.23	—	76.92
	(左)	1	73.33				3	81.12		76.92	—	84.62
5a/4a	中央断面示数(右)	3	76.67	75.00	—	80.00	4	79.75	3.32	76.92	—	83.33
	(左)	2	77.23	68.75	—	85.71	4	81.35	3.04	76.92	—	83.33

表20　尺骨(mm)(Ulna)

		南江戸桑田 男性					南江戸桑田 女性				
		n	M	Min.	—	Max.	n	M	σ	Min.	—	Max.
1.	最大長(右)		—				1	220				
	(左)		—					—				
2.	橈骨長(右)		—				1	194				
	(左)		—					—				
2(1).	肘頭尺骨頭長(右)		—				1	217				
	(左)		—					—				
3.	最小周(右)		—				2	32.50		31	—	34
	(左)		—				2	29.50		28	—	31
6.	肘頭幅(右)		—					—				
	(左)	1	25					—				
6(1).	上幅(右)		—					—				
	(左)		—					—				
7.	肘頭深(右)	1	25				1	22				
	(左)	1	22					—				
8.	肘頭高(右)		—				1	19				
	(左)	1	20					—				
11.	尺骨矢状径(右)	2	12.50	12	—	13	4	10.75	0.50	10	—	11
	(左)	1	13				3	11.00		10	—	12
12.	尺骨横径(右)	2	16.50	16	—	17	4	13.25	0.96	12	—	14
	(左)	1	16				3	13.67		12	—	15
S	中央最小径(右)	3	12.67	12	—	13	4	10.50	0.58	10	—	11
	(左)	2	12.50	12	—	13	3	10.33		10	—	11
L	中央最大径(右)	3	16.67	16	—	17	4	13.50	1.00	13	—	15
	(左)	2	16.50	16	—	17	3	13.33		12	—	15
C	中央周(右)	3	48.67	48	—	50	4	39.50	1.73	37	—	41
	(左)	2	47.50	47	—	48	3	39.67		36	—	43
3/2	長厚示数(右)		—				1	17.53				
	(左)		—					—				
11/12	骨体断面示数(右)	2	75.74	75.00	—	76.47	4	81.27	3.16	78.57	—	84.62
	(左)	1	81.25				3	81.03		71.73	—	91.67
S/L	中央断面示数(右)	3	75.98	75.00	—	76.47	4	78.21	8.50	66.67	—	84.62
	(左)	2	75.74	75.00	—	76.47	3	77.86		73.33	—	83.33

表21　大腿骨(mm)(Femur)

		南江戸桑田 男性					南江戸桑田 女性					
		n	M	Min.	—	Max.	n	M	σ	Min.	—	Max.
1.	最大長(右)		—					—				
	(左)		—					—				
2.	自然位全長(右)		—					—				
	(左)		—					—				
3.	最大転子長(右)		—					—				
	(左)		—					—				
4.	自然位転子長(右)		—					—				
	(左)		—					—				
6.	骨体中央矢状径(右)	3	27.33	24	—	32	4	22.25	0.96	21	—	23
	(左)	3	28.67	26	—	31	5	22.80	1.92	20	—	25
7.	骨体中央横径(右)	3	26.33	23	—	29	4	23.25	0.96	22	—	24
	(左)	3	28.33	27	—	29	5	24.60	1.52	22	—	26
8.	骨体中央周(右)	3	85.67	85	—	87	4	71.75	2.99	68	—	75
	(左)	3	86.33	85	—	88	5	74.80	4.71	67	—	79
9.	骨体上横径(右)	3	30.00	28	—	31	4	28.25	1.50	27	—	30
	(左)	2	30.50	30	—	31	1	28				
10.	骨体上矢状径(右)	3	25.00	24	—	26	4	20.75	0.96	20	—	22
	(左)	2	24.00	23	—	25	1	21				
15.	頚垂直径(右)		—					—				
	(左)		—				1	26				
16.	頚矢状径(右)		—					—				
	(左)		—				1	21				
17.	頚周(右)		—					—				
	(左)		—				1	76				
18.	頭垂直径(右)	1	45					—				
	(左)		—				2	39.00		39	—	39
19.	頭横径(右)	1	43					—				
	(左)		—				2	39.00		39	—	39
20.	頭周(右)	1	140					—				
	(左)		—				2	125.00		125	—	125
21.	上顆幅(右)		—					—				
	(左)		—					—				
8/2	長厚示数(右)		—					—				
	(左)		—					—				
6/7	骨体中央断面示数(右)	3	106.06	82.76	—	130.13	4	94.61	2.21	91.30	—	95.83
	(左)	3	101.49	89.66	—	114.81	5	92.67	5.18	88.00	—	100.00
10/9	上骨体断面示数(右)	3	83.53	77.42	—	89.29	4	73.54	3.62	68.97	—	77.78
	(左)	2	78.76	74.12	—	83.33	1	75.00				

表22　脛骨(mm)(Tibia)

		南江戸桑田 男性					南江戸桑田 女性					
		n	M	Min.	—	Max.	n	M	σ	Min.	—	Max.
1.	脛骨全長(右)		—					—				
	(左)		—				1	294				
1a.	脛骨最大長(右)		—					—				
	(左)		—				1	300				
1b.	脛骨長(右)		—					—				
	(左)		—				2	287.50		285	—	290
2.	顆面間距離(右)		—					—				
	(左)		—				2	273.50		270	—	277
3.	最大上関幅(右)		—					—				
	(左)		—					—				
3a.	上内関節面幅(右)		—					—				
	(左)		—				1	27				
3b.	上外関節面幅(右)		—					—				
	(左)		—					—				
4a.	上内関節面深(右)		—					—				
	(左)		—					—				
4b.	上外関節面深(右)		—					—				
	(左)		—					—				
6.	最大下骨幅(右)		—					—				
	(左)	1	46				1	42				
7.	下端矢状径(右)	1	35					—				
	(左)	1	35				1	32				
8.	中央最大径(右)	2	28.50	28	—	29	4	23.25	0.96	22	—	24
	(左)	2	27.50	26	—	29	5	23.00	1.87	21	—	25
8a.	栄養孔位最大径(右)	2	31.50	30	—	33	3	26.33		25	—	28
	(左)	1	28				2	26.00		25	—	27
9.	中央横径(右)	2	21.00	20	—	22	4	18.25	0.50	18	—	19
	(左)	1	22				5	17.20	1.10	16	—	18
9a.	栄養孔位横径(右)	2	23.50	22	—	25	3	20.00		18	—	22
	(左)	1	24				2	19.00		17	—	21
10.	骨体周(右)	2	77.50	75	—	80	4	65.00	1.83	63	—	67
	(左)	1	76				5	65.40	1.14	64	—	67
10a.	栄養孔位周(右)	2	86.50	82	—	91	3	74.33		70	—	78
	(左)	1	84				2	73.50		72	—	75
10b.	最小周(右)	2	72.00	68	—	76	3	61.67		60	—	63
	(左)	3	71.33	69	—	74	4	62.25	1.26	61	—	64
9/8.	中央断面示数(右)	2	73.65	71.43	—	75.86	4	78.61	4.18	75.00	—	82.61
	(左)	1	84.62				5	75.47	10.59	64.00	—	85.71
9a/8a	栄養孔位断面示数(右)	2	74.55	73.33	—	75.76	3	76.01		71.43	—	84.62
	(左)	1	85.71				2	73.48		62.96	—	84.00
10b/1	長厚示数(右)		—					—				
	(左)		—				1	21.77				

表23　脛骨(mm)(Fibula)

		南江戸桑田 男性					南江戸桑田 女性				
		n	M	Min.	—	Max.	n	M	Min.	—	Max.
1.	最大長(右)		—				1	288			
	(左)		—				1	285			
2.	中央最大径(右)	2	15.00	13	—	17	3	12.67	12	—	13
	(左)	1	15				3	11.67	11	—	13
3.	中央最小径(右)	2	9.50	8	—	11	3	9.00	8	—	10
	(左)	1	10				3	9.00	8	—	10
4.	中央周(右)	2	42.50	37	—	48	3	36.67	35	—	38
	(左)	1	43				3	34.67	34	—	36
4a.	最小周(右)	1	35				2	31.50	30	—	33
	(左)	1	32				1	30			
4b.	筋横径(右)	1	11				2	9.50	9	—	10
	(左)	1	10				1	10			
4c.	筋矢状径(右)	1	10				2	9.00	9	—	9
	(左)	1	9				1	9			
4(1).	上端幅(右)		—					—			
	(左)		—					—			
4(1a).	上端矢状幅(右)		—					—			
	(左)		—					—			
4(2).	下端幅(右)		—				1	15			
	(左)		—				1	15			
4(2a).	下端矢状幅(右)		—				1	22			
	(左)		—				1	21			
3/2	中央断面示数(右)	2	63.12	61.54	—	64.71	3	70.94	66.67	—	76.92
	(左)	1	66.67				3	78.09	61.54	—	90.91
4a/1	長厚示数(右)		—				1	10.42			
	(左)		—				1	10.53			

表24　膝蓋骨(mm)(Patella)

		南江戸桑田 男性		南江戸桑田 女性					
		n	M	n	M	σ	Min.	—	Max.
1.	最大高(右)	1	37	1	34				
	(左)		—		—				
2.	最大幅(右)		—	2	36.50		36	—	37
	(左)	1	43		—				
3.	最大厚(右)	1	20	4	16.25	1.71	14	—	18
	(左)	1	28	2	18.00		18	—	18
4.	関節面高(右)	1	28	2	25.00		23	—	27
	(左)		—		—				
5.	内関節面幅(右)	1	20	2	19.00		19	—	19
	(左)		—		—				
6.	外関節面幅(右)	1	25	3	22.00		22	—	22
	(左)		—	2	24.00		24	—	24
1/2	膝蓋骨高幅示数(右)		—	1	94.44				
	(左)		—		—				

表25　推定身長値(cm)(Stature)

		南江戸桑田 6号 女性	南江戸桑田 11号 男性
Pearsonの式	上腕骨(右)	—	—
	(左)	144.46	—
	橈　骨(右)	—	—
	(左)	—	159.20
	大腿骨(右)	—	—
	(左)	—	—
	脛　骨(右)	—	—
	(左)	143.92	—
藤井の式	上腕骨(右)	—	—
	(左)	144.73	—
	橈　骨(右)	—	—
	(左)	—	157.32
	大腿骨(右)	—	—
	(左)	—	—
	脛　骨(右)	—	—
	(左)	143.95	—

表26　中央周の比

		南江戸桑田 男性					南江戸桑田 女性					
		n	M	Min.	—	Max.	n	M	σ	Min.	—	Max.
橈骨／尺骨	(右)	3	91.17	86.00	—	95.83	4	89.83	4.15	85.00	—	95.12
	(左)	2	89.52	85.42	—	93.62	3	87.48	1.42	86.05	—	88.89
橈骨／上腕骨	(右)	2	67.45	66.15	—	68.75	4	67.38	3.10	62.96	—	70.21
	(左)	2	65.38	63.08	—	67.69	4	64.46	1.93	61.67	—	66.04
頌骨／上腕骨	(右)	1	60.00				3	62.92		59.26	—	68.09
	(左)	1	56.92				4	62.51	3.42	59.18	—	66.04
上腕骨／大腿骨	(右)	2	75.88	75.29	—	76.47	4	73.48	4.27	69.12	—	78.08
	(左)	2	75.17	73.86	—	76.47	5	73.07	4.79	68.83	—	81.08
上腕骨／脛骨	(右)	1	85.33				4	81.11	5.31	74.60	—	86.36
	(左)		—				5	83.51	6.55	75.38	—	92.31
腿骨／大腿骨	(右)	2	90.09	88.24	—	91.95	4	90.63	1.42	89.33	—	92.65
	(左)	1	88.37				5	87.71	5.60	83.12	—	97.01
腓骨／脛骨	(右)	2	54.67	49.33	—	60.00	3	57.00		55.56	—	59.38
	(左)	1	56.58				3	53.09		50.75	—	55.38

表27　形態小変異(Non-metoric crania variants)

	南江戸桑田 11号 男性		南江戸桑田 13号 男性		南江戸桑田 15号 男性		南江戸桑田 2号 女性		南江戸桑田 3号 女性		南江戸桑田 6号 女性		南江戸桑田 10号 女性	
	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左
1. Medial palatine canal	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
2. Pterygospinous foramen	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
3. Hypoglossal canal bridging	／	／	／	－	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
4. Clinoid bridging	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
5. Condylar canal absent	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
6. Tympanic dehiscence,Foramen of Huschke(＞1 mm)	／	／	－	－	／	／	／	／	＋	／	／	／	－	－
7. Jugular foramen bridging	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
8. Precondylar tubercle	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
9. Supra－orbital foramen(incl.frontal foramen)	／	／	－	＋	／	／	／	／	－	－	／	／	／	－
10. Accesory infraorbital foramen	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
11. Zygo－facial foramen absent	／	／	／	－	／	／	／	／	－	／	／	／	／	／
12. Aural exostosis	／	／	－	－	／	－	／	／	－	／	／	／	－	－
13. Metopism		／		－		－		－		－		／		－
14. Os incae		／		／		／		－		－		／		－
15. Ossicle at the lambda		／		／		／		－		－		／		－
16. Parietal notch bone	／	／	／	／	／	／	／	／	－	／	／	／	－	－
17. Transverse zygomatic suture(＞5 mm)	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
18. Asterionic ossicle	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	－
19. Occipitomastoid ossicle	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
20. Epipteric ossicle	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
21. Frontotemporal articulation	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
22. Biasterionic suture(＞10 mm)	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	－	－
23. Mylohyoid bridging	／	／	／	／	／	／	／	－	－	－	－	／	／	／
24. Accessory mental foramen	－	＋	／	／	／	／	＋	／	－	／	／	／	－	－
25. Mandibular torus	－	－	／	／	／	／	－	／	－	／	／	／	－	－
26. 滑車上孔	－	－	／	／	／	／	／	－	／	－	－	－	／	／

表28　橈骨(mm)(Radius)

		南江戸桑田 1号 7～8歳
1.	骨体最大長(右)	—
	(左)	—
2.	骨体中央横径(右)	—
	(左)	8
3.	骨体中央矢状径(右)	—
	(左)	8
4.	骨体中央周(右)	—
	(左)	28
5.	骨体最小周(右)	—
	(左)	27
5/1	長厚示数(右)	—
	(左)	—
3/2	骨体中央断面示数(右)	—
	(左)	100.00

表29　尺骨(mm)(Ulna)

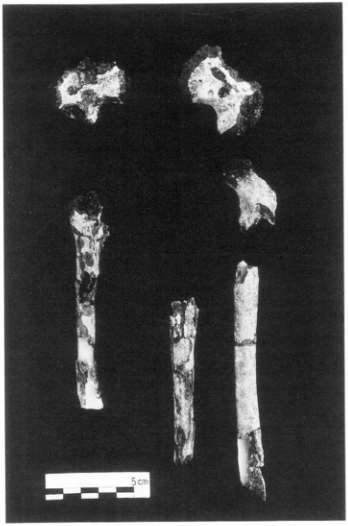
		南江戸桑田 1号 7～8歳
1.	骨体最大長(右)	—
	(左)	—
2.	骨体中央最小径(右)	—
	(左)	8
3.	骨体中央最大径(右)	—
	(左)	10
4.	骨体中央周(右)	—
	(左)	30
5.	骨体最小周(右)	—
	(左)	—
5/1	長厚示数(右)	—
	(左)	—
2/3	骨体中央断面示数(右)	—
	(左)	80.00

表30　大腿骨(mm)(Femur)

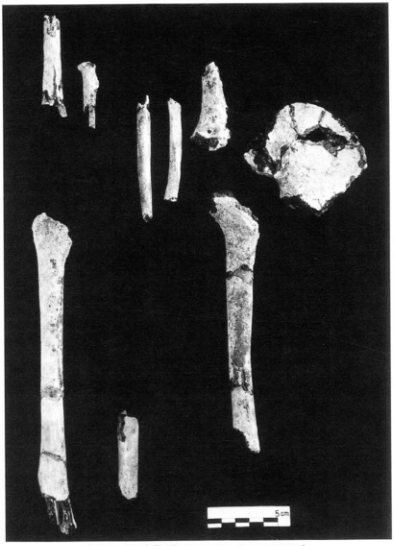
		南江戸桑田 5号 5歳	南江戸桑田 1号 7～8歳
1.	骨体最大長(右)	—	—
	(左)	—	—
2.	骨体中央横径(右)	—	15
	(左)	12	16
3.	骨体中央矢状径(右)	—	15
	(左)	11	15
4.	骨体中央周(右)	—	50
	(左)	37	50
5.	骨体上横径(右)	—	19
	(左)	14	19
6.	骨体上矢状径(右)	—	15
	(左)	11	14
7.	骨体上端幅(右)	—	—
	(左)	39	—
8.	骨体下端幅(右)	—	—
	(左)	—	—
4/1	長厚示数(右)	—	—
	(左)	—	—
3/2	骨体中央断面示数(右)	—	100.00
	(左)	91.67	93.75
6/5	上骨体断面示数(右)	—	78.95
	(左)	78.57	73.68

表31　脛骨(mm)(Tibia)

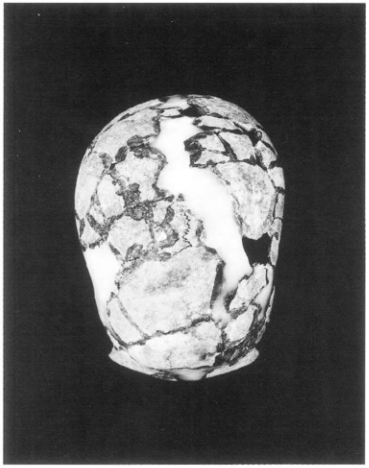
		南江戸桑田 5号 5歳
1.	骨体最大長(右)	—
	(左)	—
2.	骨体中央横径(右)	—
	(左)	11
3.	骨体中央最大径(右)	—
	(左)	13
4.	骨体中央周(右)	—
	(左)	39
5.	骨体上端幅(右)	—
	(左)	—
6.	骨体下端幅(右)	—
	(左)	—
7.	骨体最小周(右)	—
	(左)	—
7/1	長厚示数(右)	—
	(左)	—
2/3	骨体中央断面示数(右)	—
	(左)	84.62



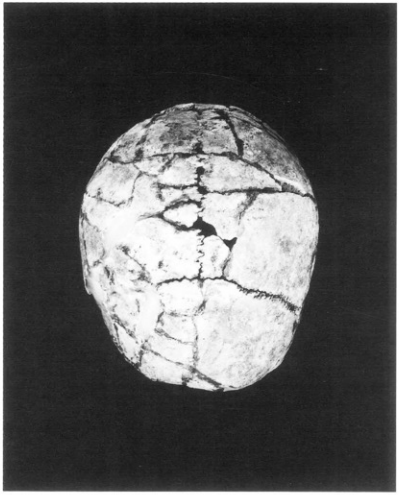
下肢骨（Bones of the lower limb）
写真1　5号人骨（幼児）
（The Minamiedo-kuwata No.5, infant）



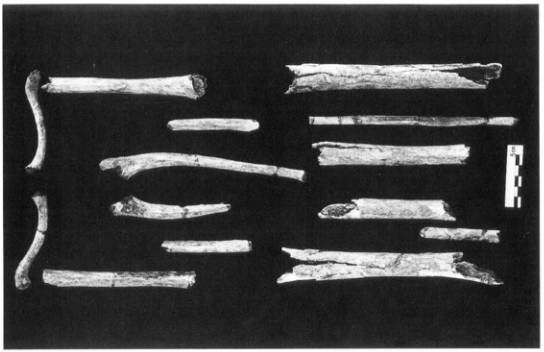
頭蓋・四肢骨（The skull, limb bones）
写真2　1号人骨（小児）
（The Minamiedo-kuwata No.1, juvenile）



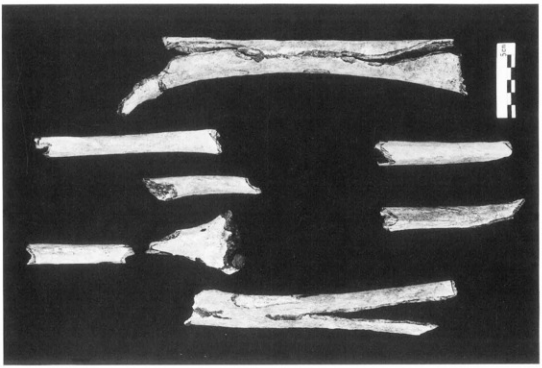
頭蓋上面（Superior view of the Skull）
写真３　３号人骨（女性・壮年）
（The Minamiedo-kuwata No.3, young adult female）



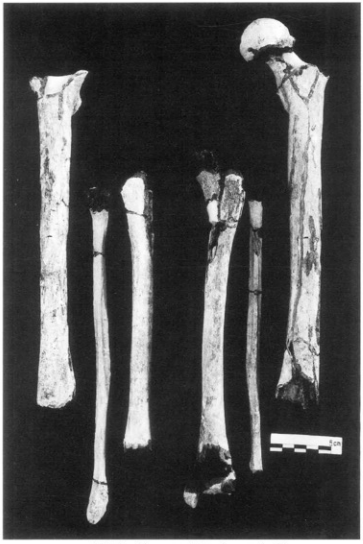
頭蓋上面（Superior view of the Skull）
写真４　２号人骨（女性・壮年）
（The Minamiedo-kuwata No.2, young adult female）



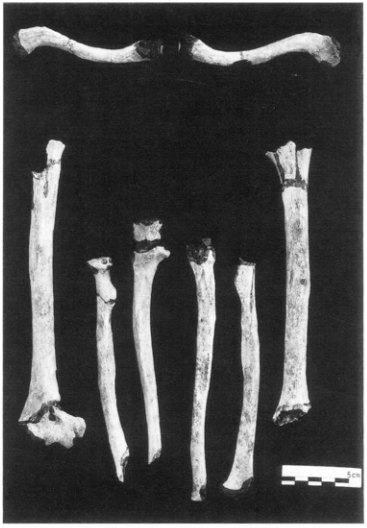
四肢骨（The limb bones）
写真6　2号人骨（女性・壮年）
（The Minamiedo-kuwata No.2, young adult female）



四肢骨（The limb bones）
写真5　10号人骨（女性・壮年）
（The Minamiedo-kuwata No.10, male）

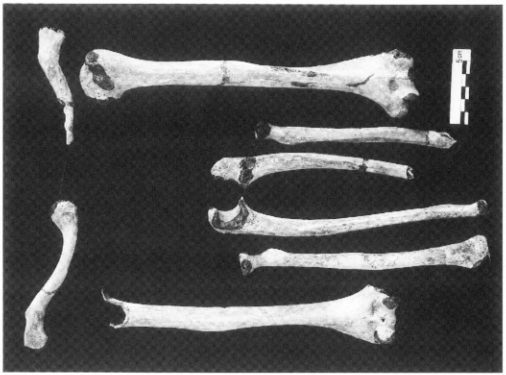


下肢骨（Bones of the lower limb）

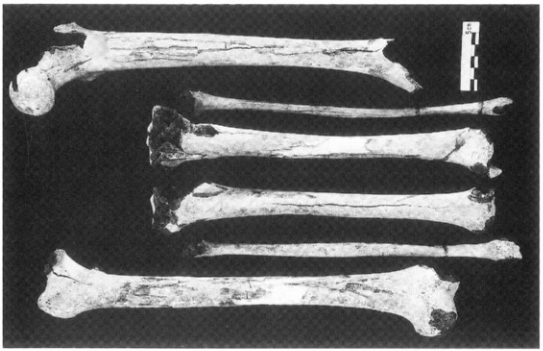


上肢骨（Bones of the upper limb）

写真7　3号人骨（女性・壮年）
（The Minamiedo-kuwata No.3, young adult female）

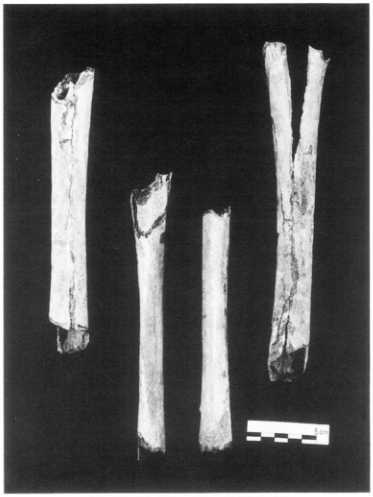


上肢骨（Bones of the upper limb）

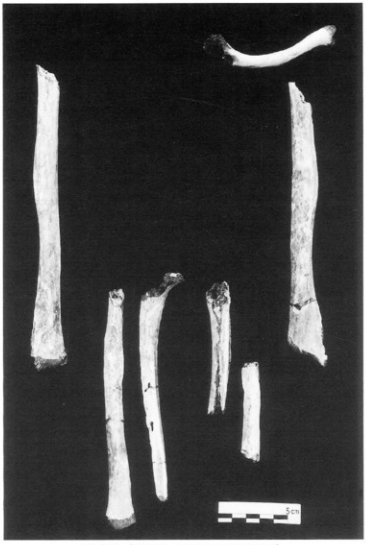


下肢骨（Bones of the lower limb）

写真8　6号人骨（女性）
（The Minamiedo-kuwata No.6, female）

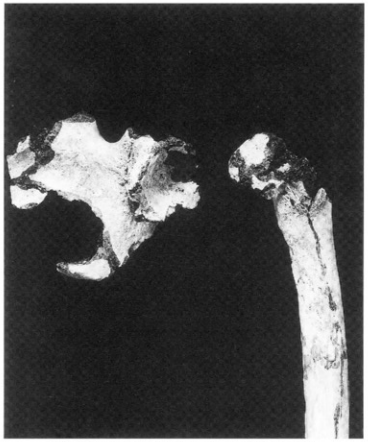


下肢骨（Bones of the lower limb）

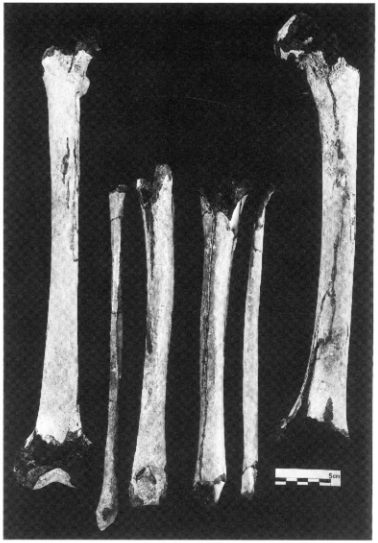


上肢骨（Bones of the upper limb）

写真9　7号人骨（女性）
（The Minamiedo-kuwata No.7, female）

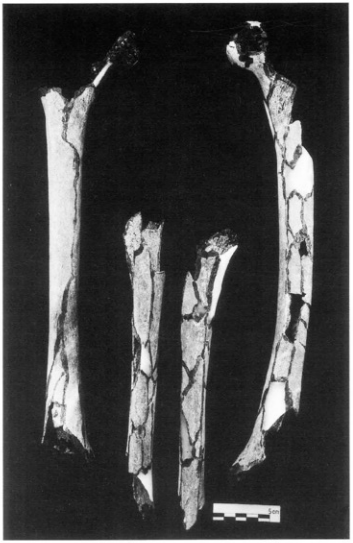


股関節骨折（The fracture of the left hip joint）

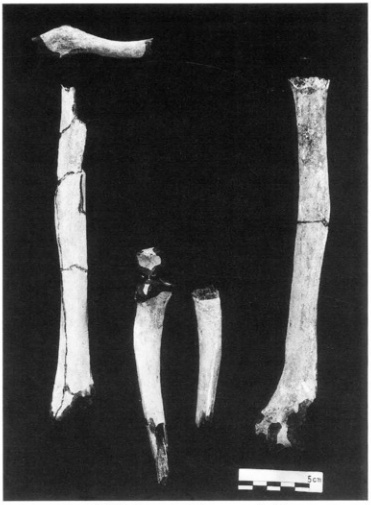


下肢骨（Bones of the lower limb）

写真10　8号人骨（男性）
（The Minamiedo-kuwata No.8, male）

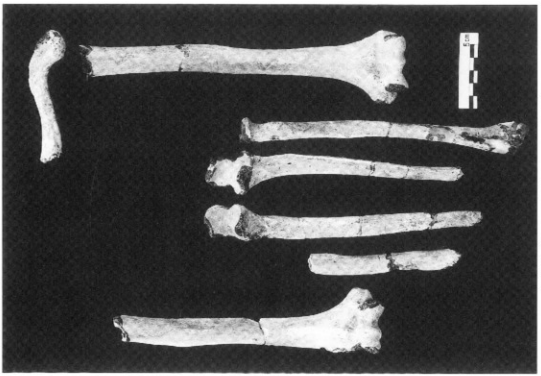


下肢骨（Bones of the lower limb）

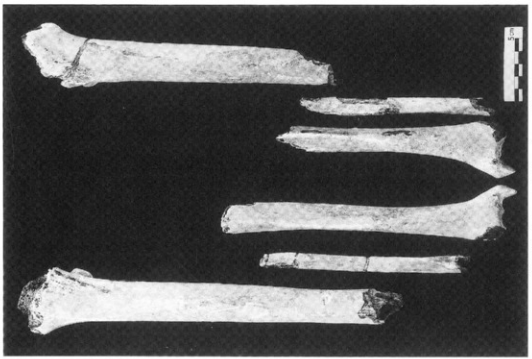


上肢骨（Bones of the upper limb）

写真11　9号人骨（男性）
（The Minamiedo-kuwata No.9, mature female）



上肢骨（Bones of the upper limb）



下肢骨（Bones of the lower limb）

写真12　11号人骨（男性）
（The Minamiedo-kuwata No.11, male）

写　真　図　版

写真図版例言

1．遺構の撮影は、各調査担当者および大西が行なった。

2．遺物の撮影は、大西が行なった。

使用機材：

カメラ　トヨビュー45G　　レンズ　ジンマーS　240㎜
ストロボ　コメット／CA－32・CB2400（バンク使用）
スタンド他　トヨ／無影撮影台・ウエイトスタンド101
フィルム　プラスXパン・エクタクロームEPP

3．白黒写真の現像・焼き付けは、一部を除いて大西が行なった。

使用機材：

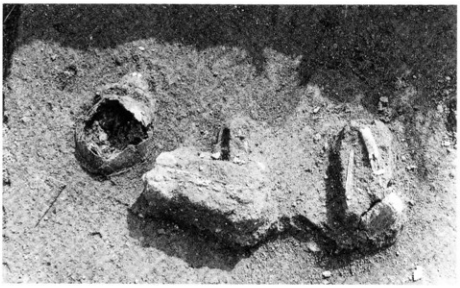
引伸機　ラッキー450MD　　レンズ　エルニッコール　135㎜
　　ラッキー90MS　　エルニッコール　50㎜
印画紙　イルフォードマルチグレードⅣRC
フィルム現像剤　コダックD－76・HC110

【参考】『埋文写真研究』vol.1～11

［大西 朋子］

1．1区の調査
（南西より）

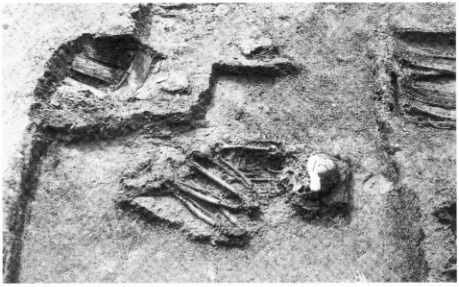
2．北半部の遺構
（北より）



3．1号墓検出状況(1)
（西より）

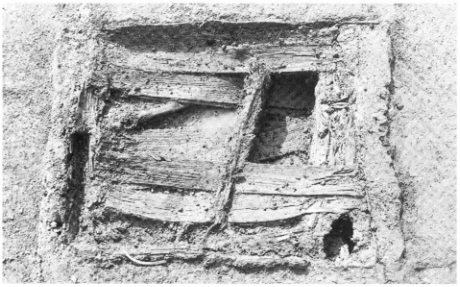
図版二

1．1号墓検出状況(2)
（南より）

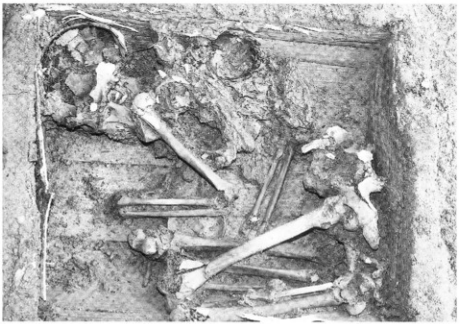


2．2･5号墓検出状況
（東より）

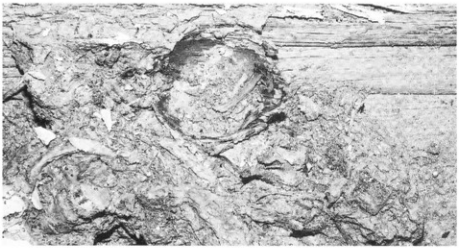
3．2号墓検出状況
（東より）



1．3号墓検出状況(1)
（東より）

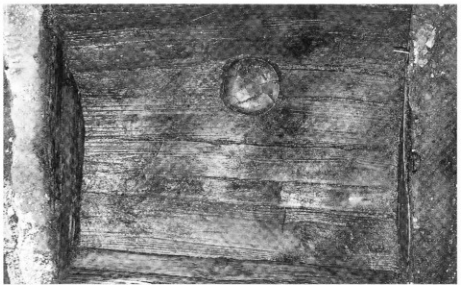


2．3号墓検出状況(2)
（西より）

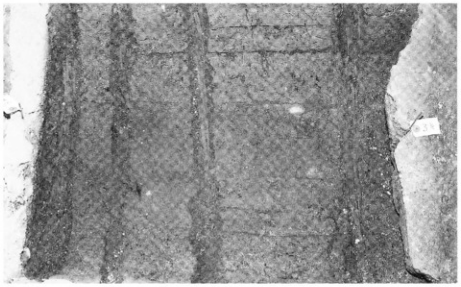


3．3号墓検出状況(3)
（西より）

図版四

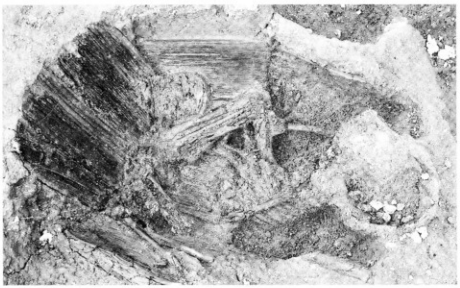


1．3号墓検出状況(4)
（西より）

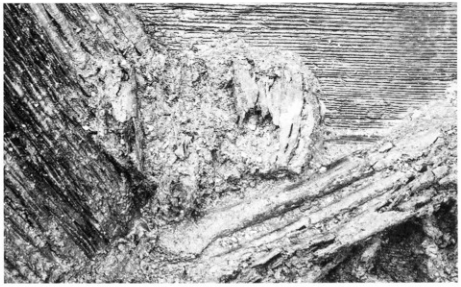


2．3号墓埋甕除去後
（東より）

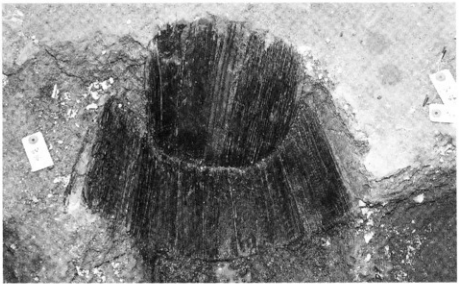
3．5号墓検出状況(1)
（南より）



1．5号墓検出状況(2)
（東より）

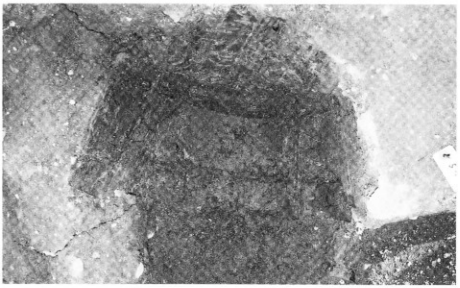


2．5号墓検出状況(3)
（東より）



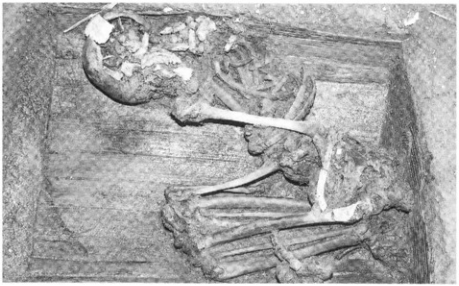
3．5号墓検出状況(4)
（北東より）

図版六

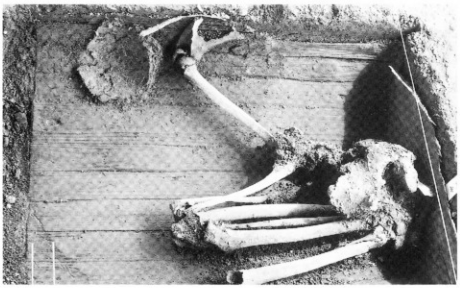


1．5号墓埋土除去後
（北東より）

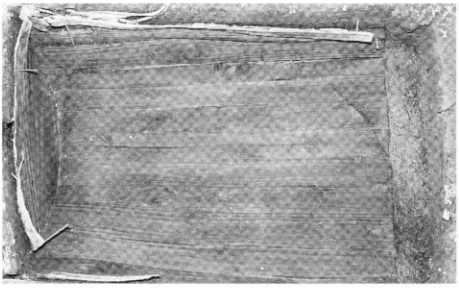
2．6号墓検出状況(1)
（北より）



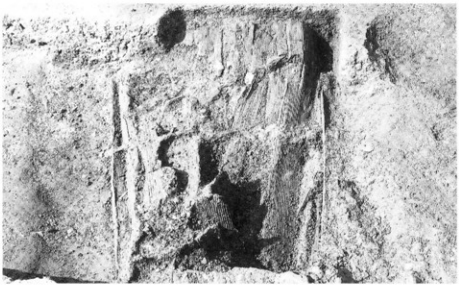
3．6号墓検出状況(2)
（西より）



1．6号墓検出状況(3)
（西より）

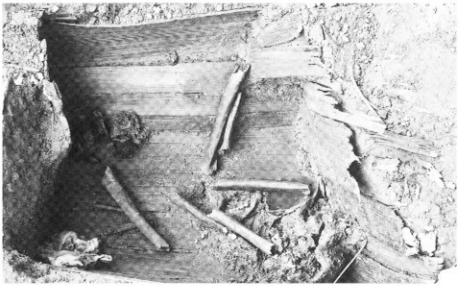


2．6号墓検出状況(4)
（東より）

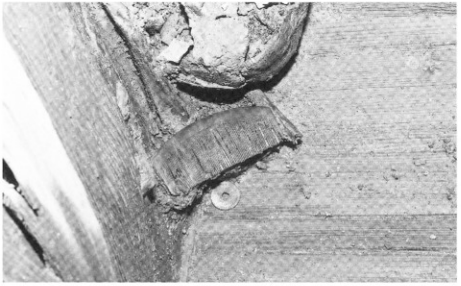


3．7号墓検出状況(1)
（南より）

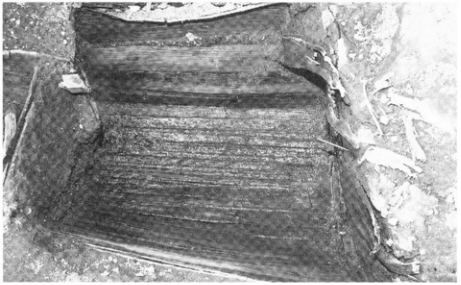
図版八



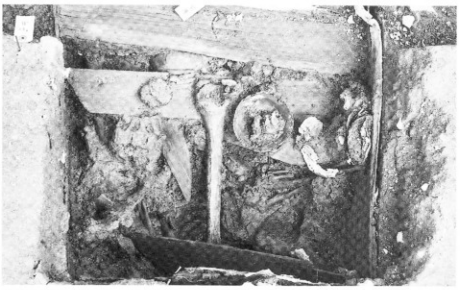
1．7号墓検出状況(2)
（東より）



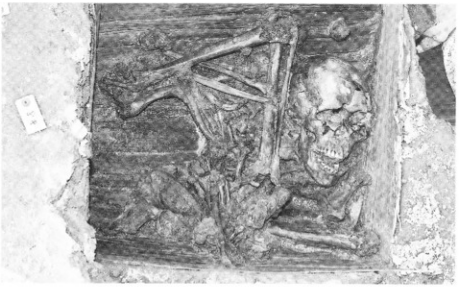
2．7号墓検出状況(3)
（西より）



3．7号墓検出状況(4)
（東より）



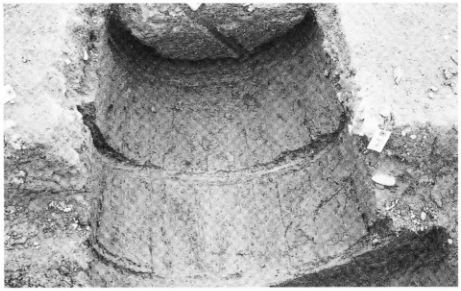
1．8号墓検出状況(1)
（南より）



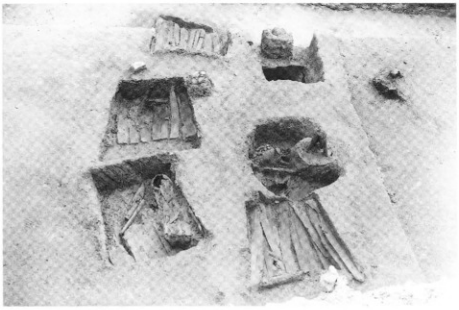
2．8号墓検出状況(2)
（東より）

3．8号墓検出状況(3)
（南より）

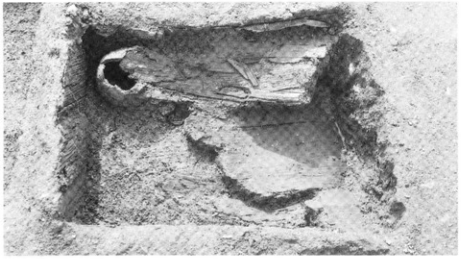
図版一〇



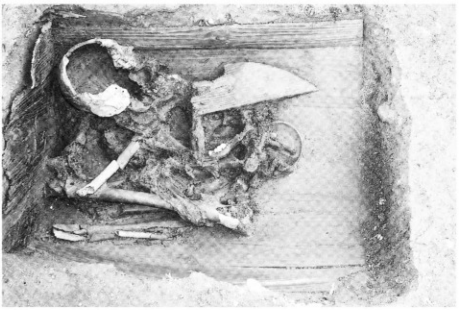
1．8号墓埋土除去後
（北東より）



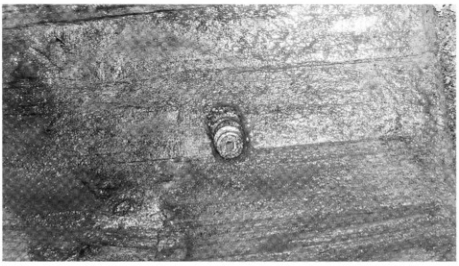
2．9～15号墓全景
（北より）



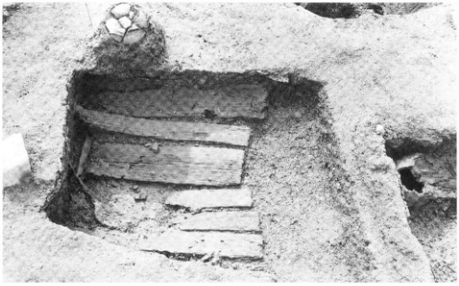
3．9号墓検出状況(1)
（東より）



1．9号墓検出状況(2)
（東より）

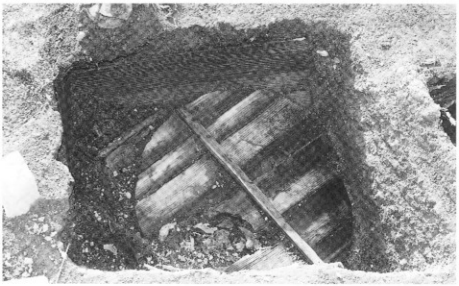


2．9号墓検出状況(3)
（東より）

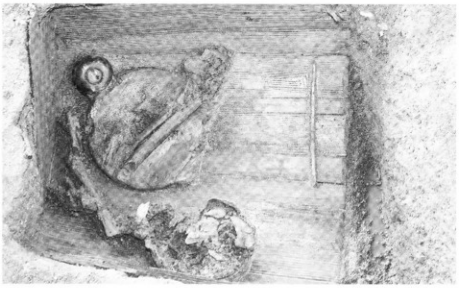


3．10号墓検出状況(1)
（東より）

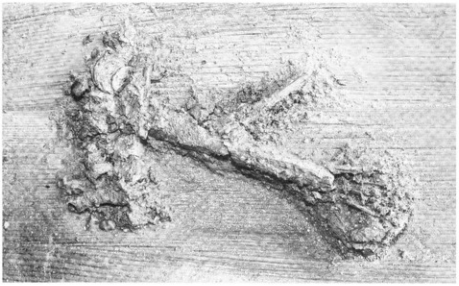
図版一二



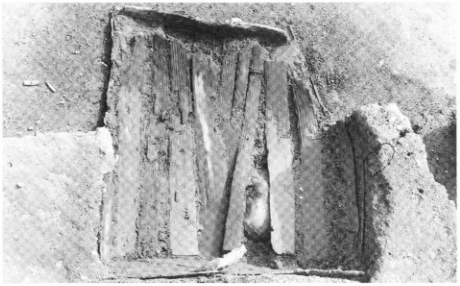
1．10号墓検出状況(2)
（東より）



2．10号墓検出状況(3)
（東より）

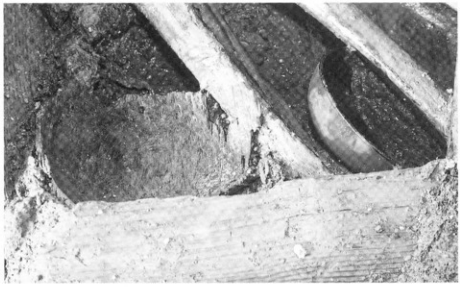


3．10号墓検出状況(4)
（東より）



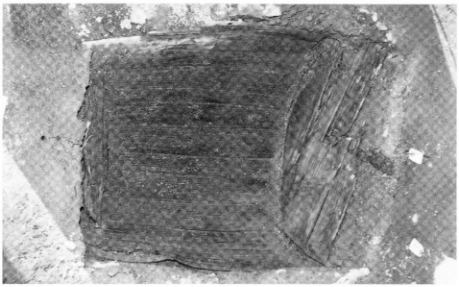
1．11号墓検出状況(1)
（北東より）

2．11号墓検出状況(2)
（東より）

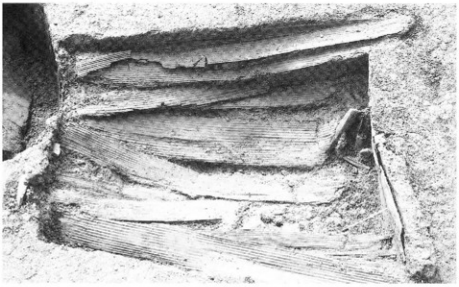


3．11号墓検出状況(3)
（南より）

図版一四

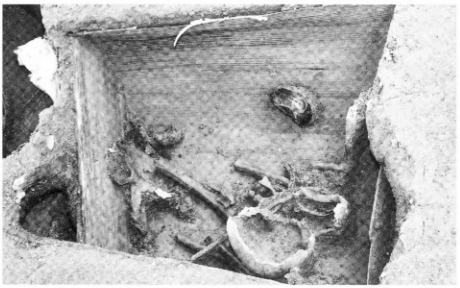


1．11号墓検出状況(4)
（東より）



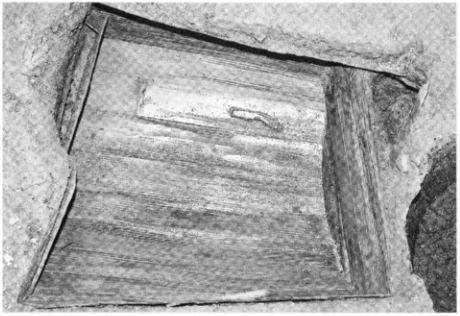
2．12号墓検出状況(1)
（東より）

3．12号墓検出状況(2)
（東より）

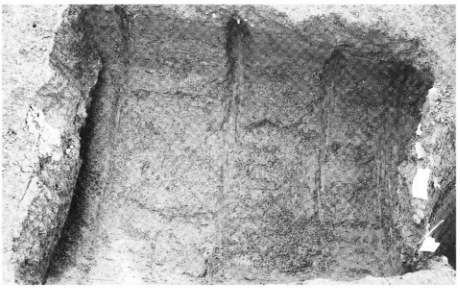


1．12号墓検出状況(3)
（東より）

2．12号墓検出状況(4)
（東より）

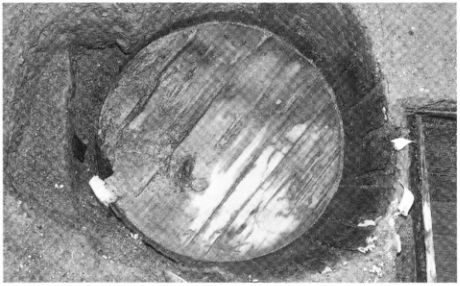


3．12号墓検出状況(5)
（西より）

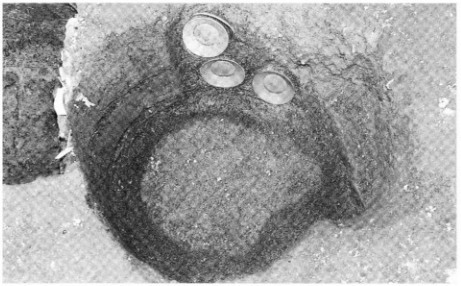


1．12号墓掘削除去後
（西より）

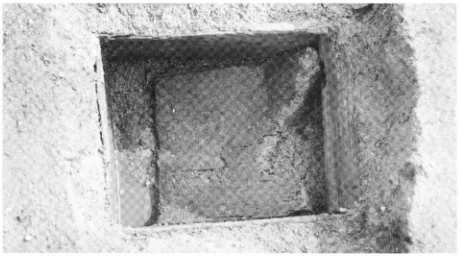
2．13号墓検出状況(1)
（南より）



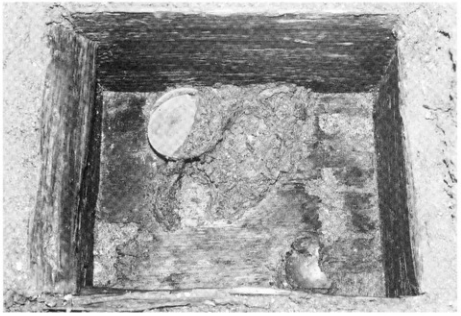
3．13号墓検出状況(2)
（東より）



1．13号墓精外出土遺物
（西より）



2．14号墓検出状況(1)
（北より）

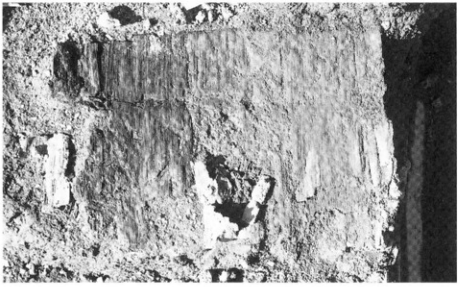


3．14号墓検出状況(2)
（南より）

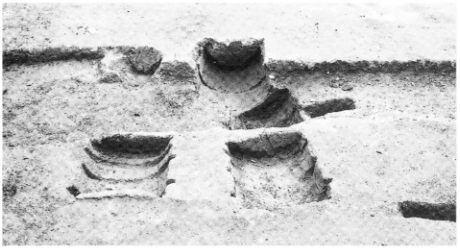
図版一八

1．14号墓検出状況(3)
（北より）

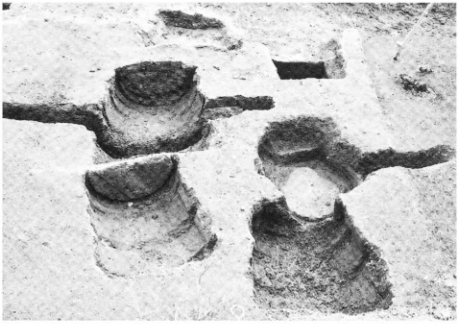
2．14・15号墓検出状況
（南より）



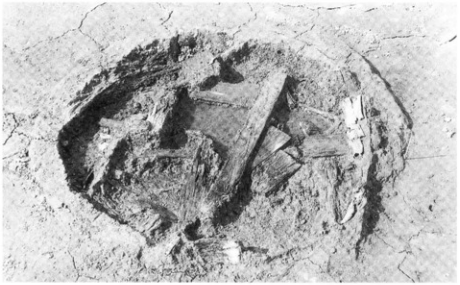
3．15号墓検出状況
（南より）



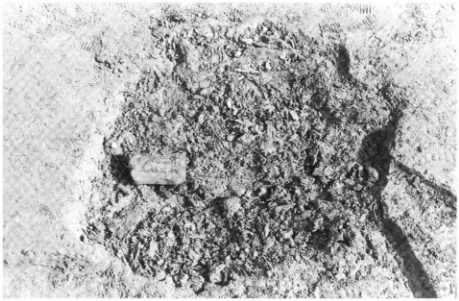
1．1～8号墓埋土除去後
（北より）



2．9～15号墓埋土除去後
（北より）



3．SE01検出状況
（南より）

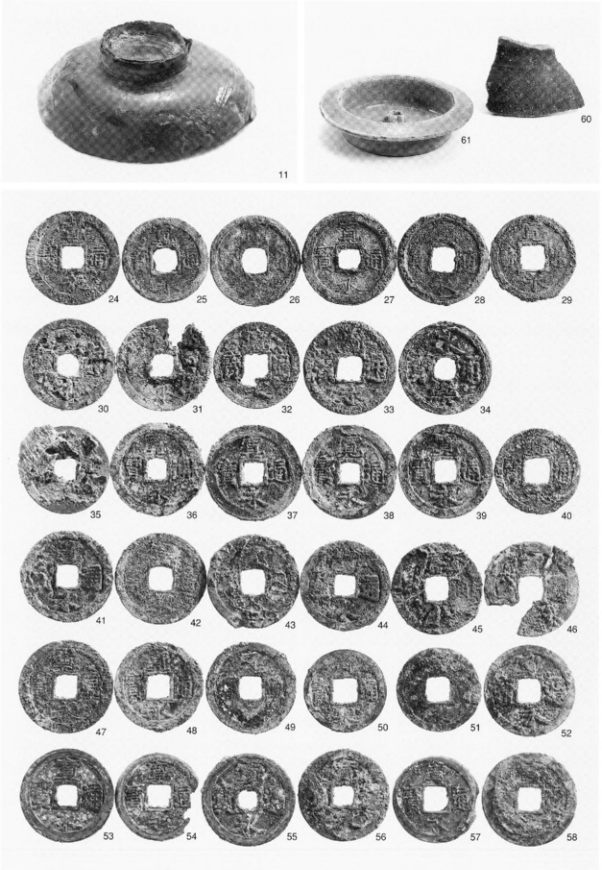


1．SX1検出状況
（南より）

2．2区の調査
（南西より）

3．SE02検出状況
（東より）

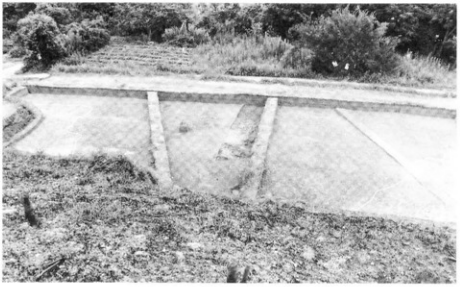
1．出土遺物（1）（2:3号墓、6:9号墓、10・11:10号墓、14～20:13号墓、
21・22:14号墓、23:不明）



1．出土遺物（2）（11：10号墓、60：SE01、61：トレンチ、24～29：7号墓、30～34：8号墓、35～40：9号墓、41～46：10号墓、47～52：12号墓、53～58：13号墓）

1．B1区調査前全景(1)
（南より）

2．B1区調査前全景(2)
（北より）



3．B1区谷状地形の検出(1)
（西より）

図版二四

１．B1区谷状地形の検出(2)
（北西より）

２．B1区掘削状況(1)
（南より）

３．B1区掘削状況(2)
（南西より）

1．B1区第7層遺物
出土状況(1)
(東より)

2．B1区第7層遺物
出土状況(2)
(北より)

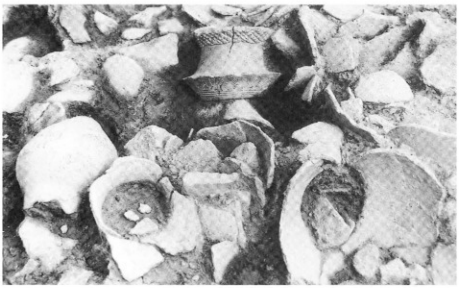
3．B1区第7層遺物
出土状況(3)
(北より)

図版二六

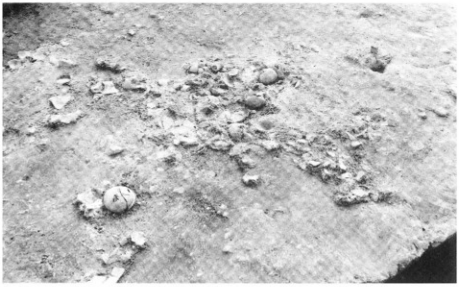
１．B1区第7層遺物
出土状況(4)
(北西より)

２．B1区第7層遺物
出土状況(5)
(西より)

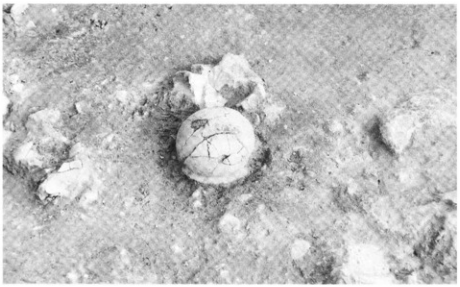
３．B1区第7層遺物
出土状況(6)
(南より)



1．B1区第7層
遺物出土状況(7)



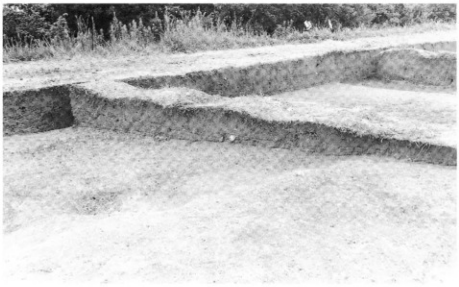
2．B1区第7層
遺物出土状況(8)
(北東より)



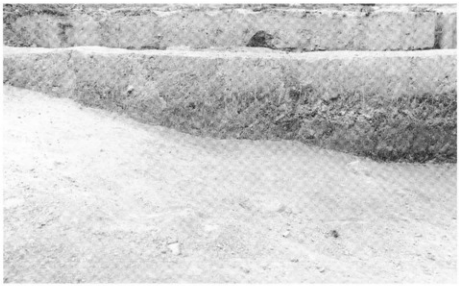
3．B1区第7層
遺物出土状況(9)
(北西より)

図版二八

1．B1区第7層遺物
出土状況(10)
（北より）



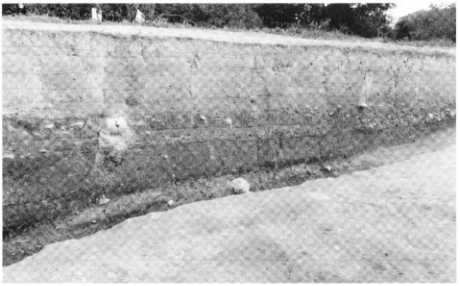
2．B1区A～A'土層断面
（北西より）



3．B1区B～B'土層断面
（南より）

1．B1区谷状地形完掘状況
（南西より）

2．B1区D~D'土層断面(1)
（西より）



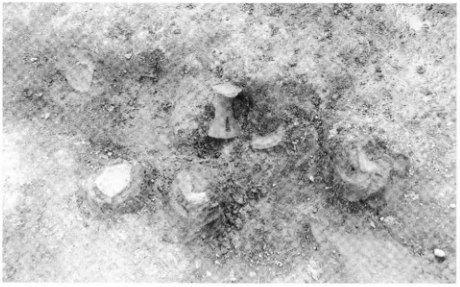
3．B1区D~D'土層断面(2)
（北西より）

１．B2区調査前全景(1)
（北西より）

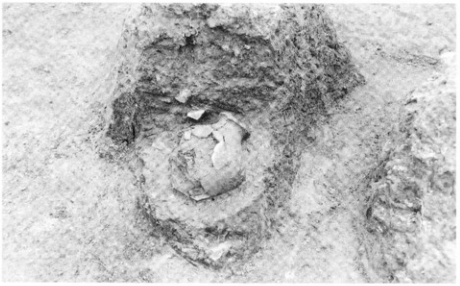
２．B2区調査前全景(2)
（南より）

３．B2区掘削状況
（南西より）

1．B2区遺物出土状況(1)
(南西より)

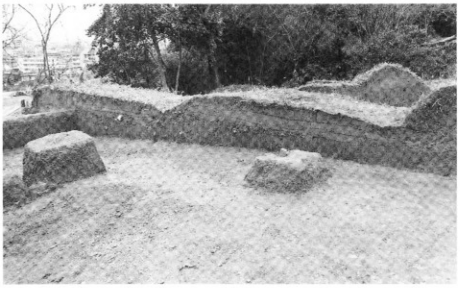


2．B2区遺物出土状況(2)

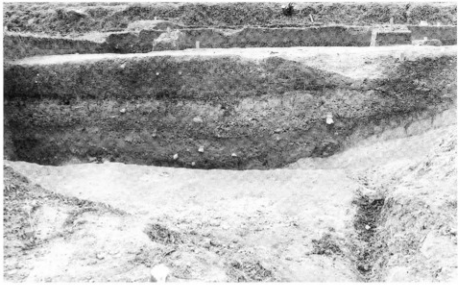


3．B2区遺物出土状況(3)

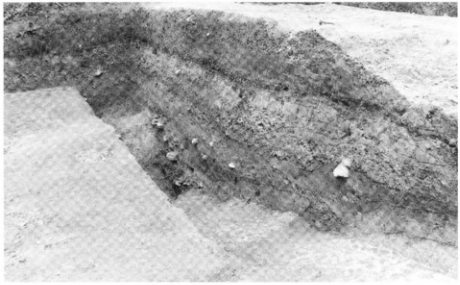
図版三二



1．B2区E~E土層断面
（北西より）



2．B2区G~G土層断面
（東より）



3．B2区F~F土層断面
（北東より）

42

93

112

92

119

164

1．B1区第7層出土遺物(1)

図版三四

123

124

129

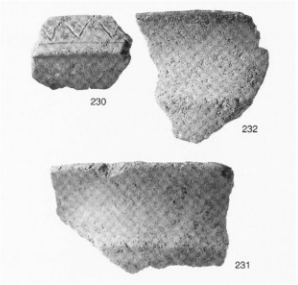
134

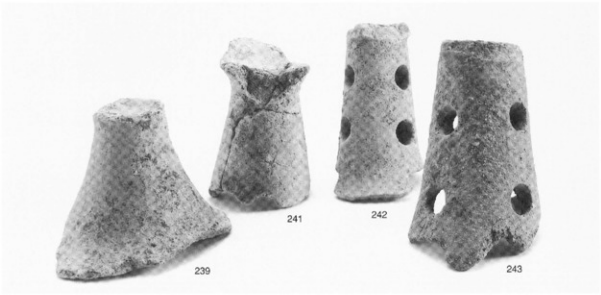
135

1．B1区第7層出土遺物(2)

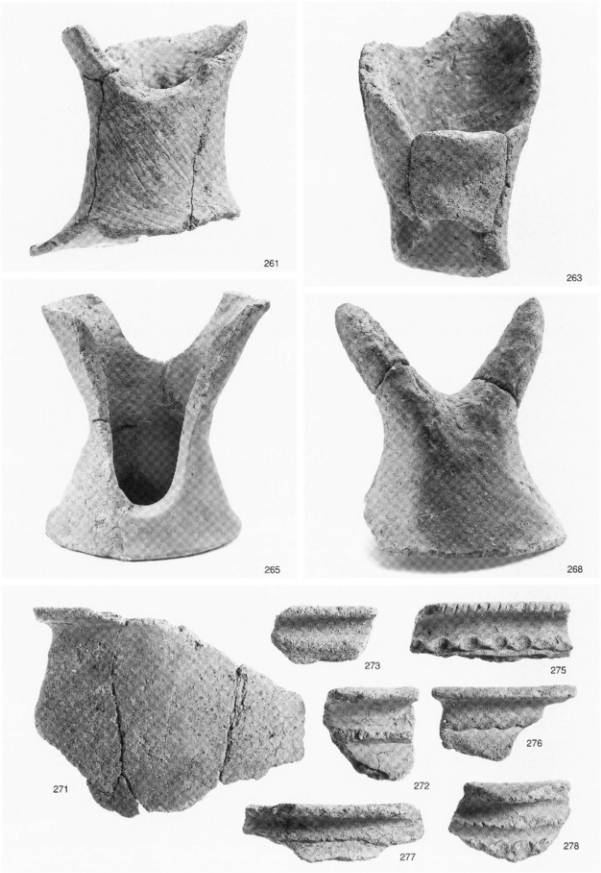
1．B1区第7層出土遺物(3)

図版三六



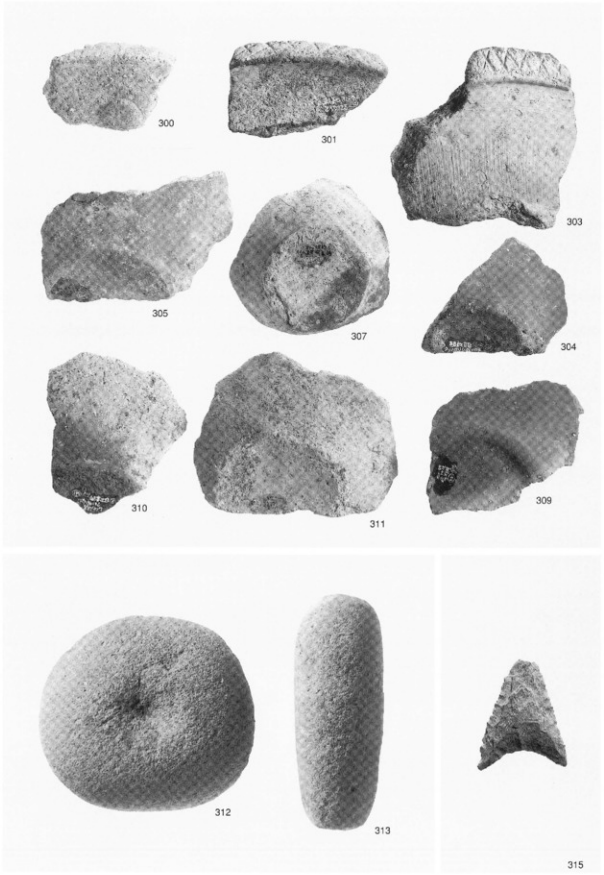


1．B1区第7層出土遺物(4)

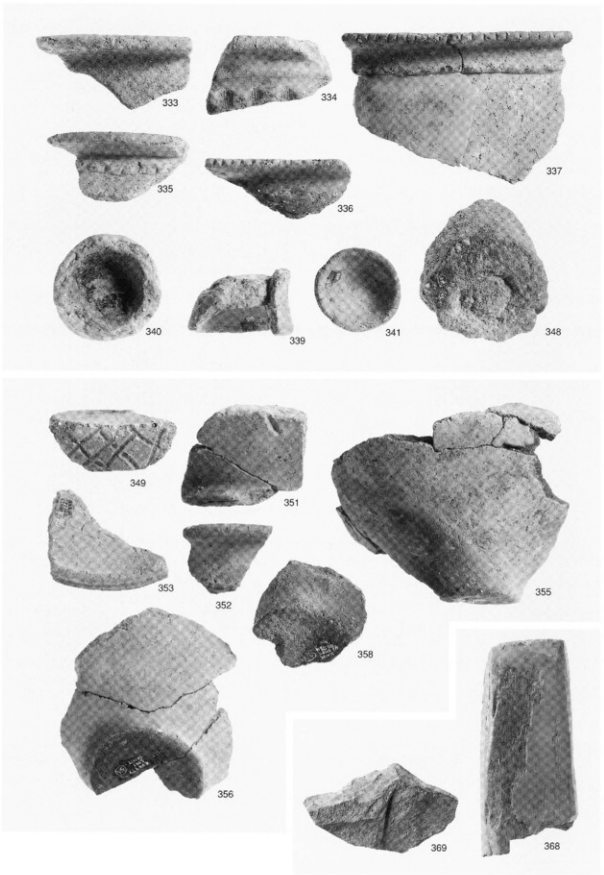


１．Ｂ１区第７層出土遺物（５）

図版三八

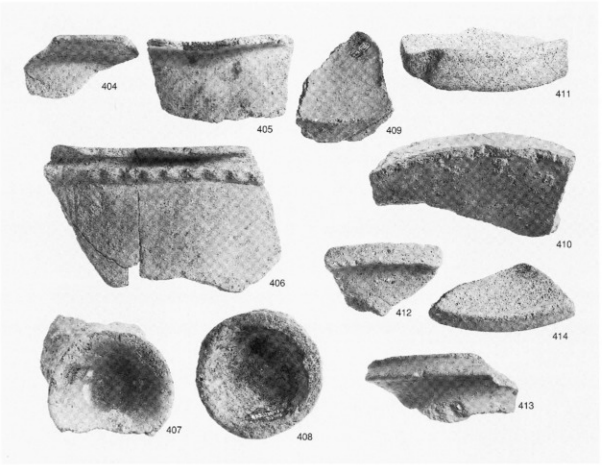


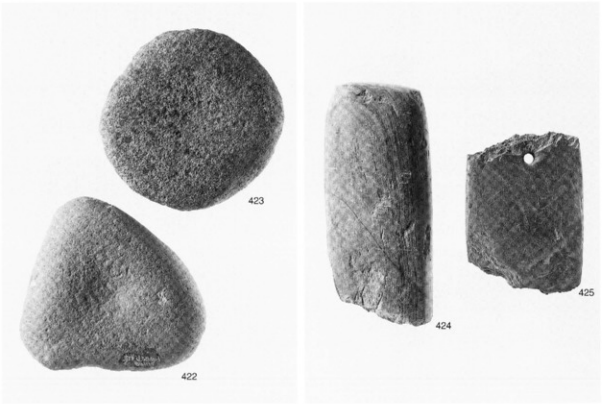
1．Ｂ１区第７層出土遺物(６)



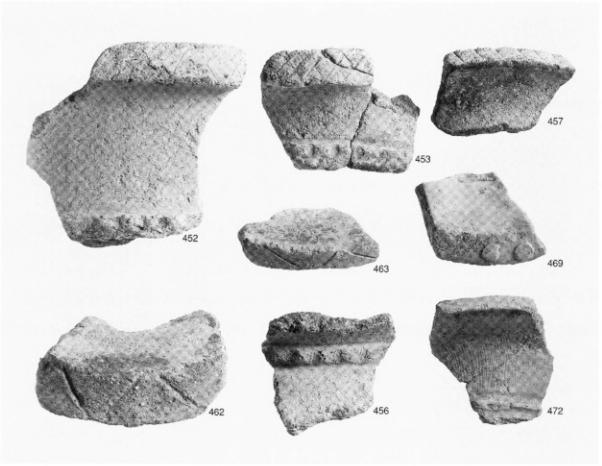
1．Ｂ１区第９層出土遺物

図版四〇



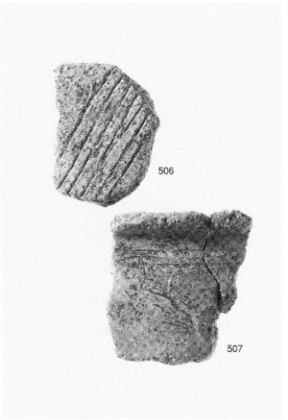


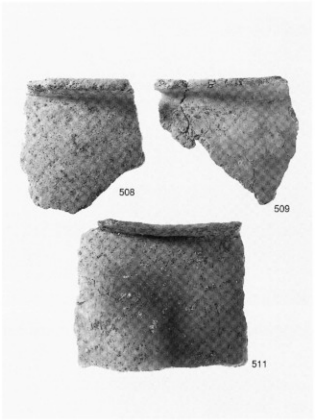
1．Ｂ１区第11層出土遺物

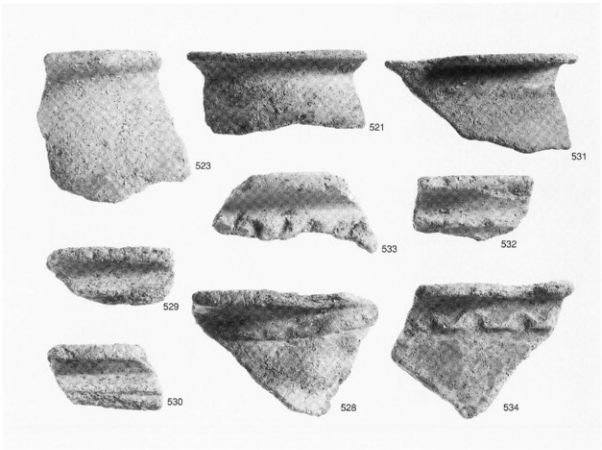


１．Ｂ２区第９層出土遺物（１）

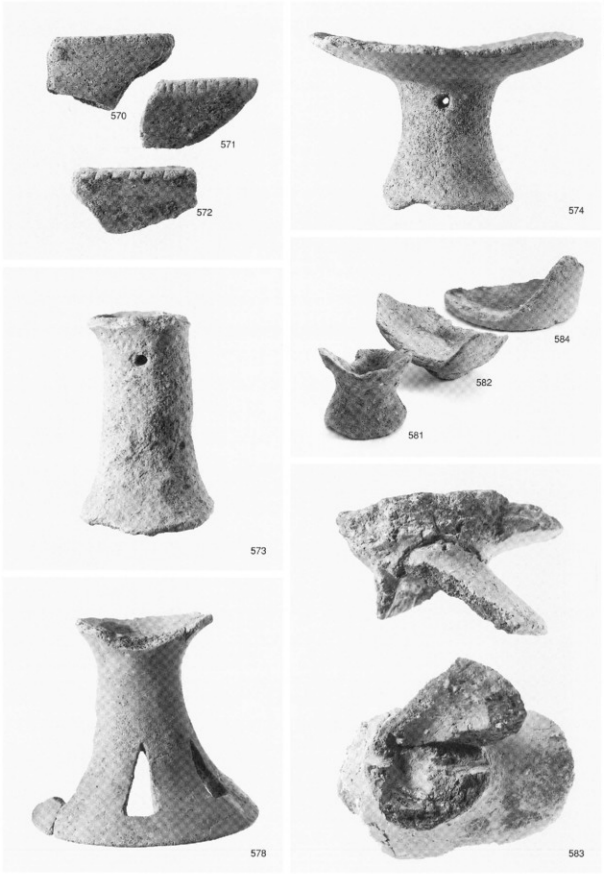
図版四二







1．Ｂ２区第９層出土遺物(２)



1．B2区第9層出土遺物(3)